



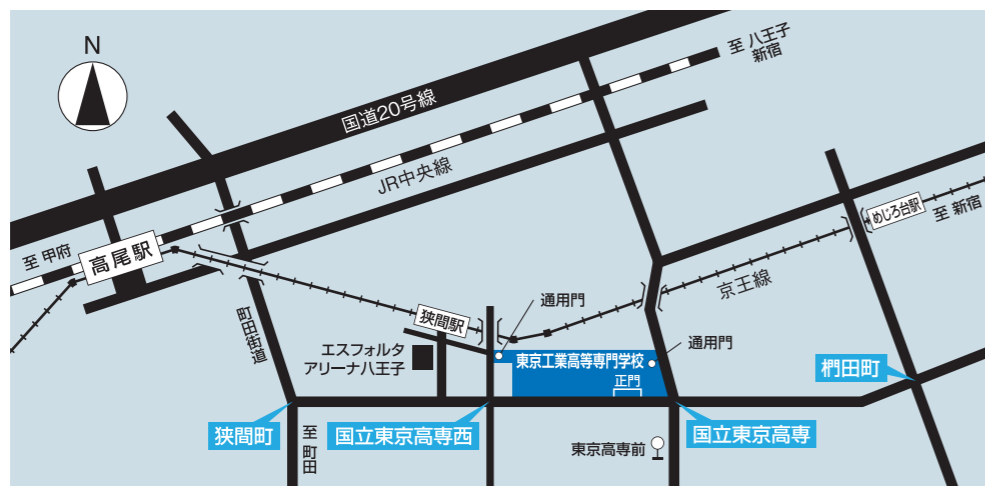
独立行政法人 国立高等専門学校機構

東京工業高等専門学校

〒193-0997 東京都八王子市栢田町1220-2

代表電話 **042-668-5111**

<https://www.tokyo-ct.ac.jp/>



[交通機関]

- | | |
|-------|----------------------------------------------------|
| 京王線 | ● 狭間駅(特急停車)から徒歩5分
● めじろ台駅(特急停車)から徒歩15分またはタクシー5分 |
| JR中央線 | ● 高尾駅から徒歩25分 |
| 京王バス | ● 八王子駅南口から「めじろ台駅」行き17分
東京高専前下車、徒歩1分 |



TOKYO

独立行政法人 国立高等専門学校機構

東京工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tokyo College

学校案内

令和8年度(2026)



KOSEN

未来を拓くトップエンジニアの育成

－創造力・実践力・応用力－

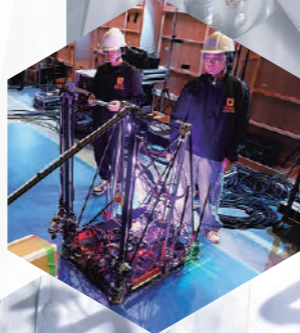
これからの 技術者が育つ 「社会実装教育」

自ら考え主体的に行動する力を付けるとともに
社会と協創する重要性を体感する
今までにない全く新しい教育プログラム。



アイデアを形にして 各種コンテストで受賞

- 受賞者の中には、
起業に至った学生もいます。
- ロボコン3年連続全国大会出場
- プロコン14年連続入賞、
これまでに全部門制覇2回、
全国最多の優勝回数



各種 メディアからも 注目!



浅川地下壕の
三次元地図

国立大学への
進学実績多数

国公立大学
編入学

専攻科
進学

就職

景気に 左右されない 進路実績

本科
求人倍率

20

倍以上

CONTENTS

KOSEN TOPICS	P03
本校の教育	P05
産学連携・研究活動	P11
学科紹介	P13
キャンパスライフ	P26
東京高専Q & A	P32
各種データ	P33
キャンパスマップ	P45

校長あいさつ

東京工業高等専門学校 校長 樋口 聡



高等専門学校は、中学校卒業者を受け入れる高等教育機関、つまり、大学と同じ種類の機関です。私たち東京高専は、5年一貫だからこその実践的教育で、1年生から様々な実験やプロジェクトに取り組み、授業の～“学び”を“カタチ”に～し続けながら、アイデアを生み出す力、自ら探究する力を育み、卒業後に歩むそれぞれのフィールドで挑戦し続けられるトップエンジニアに育てることを目指しています。

私たちは、この5年間の教育の中で、“社会実装”という考え方を大切にしてきました。企業や地域が抱えるリアルな課題を見つけ、高専で学んだ知識と技術を総動員して解決策を提案する「社会実装プロジェクト」に全学生が取り組みます。それは、高専での実践的な教育で培われる創造力を、～学びを社会の架け橋に～生かす感性に繋げて欲しいとの願いからです。

今日は、デジタル化とAIの急速な深化で、社会も学びも大きく変わりつつあります。サイバーの世界に人間が知覚できる空間が広がり、現実の世界の様々なモノに組み込まれたAIが、AI同士が協調しながら、私たちのエージェントとなって会話しながら様々なことを実現してくれる時代がきていますし、これからも想像を超える速度で進化するでしょう。

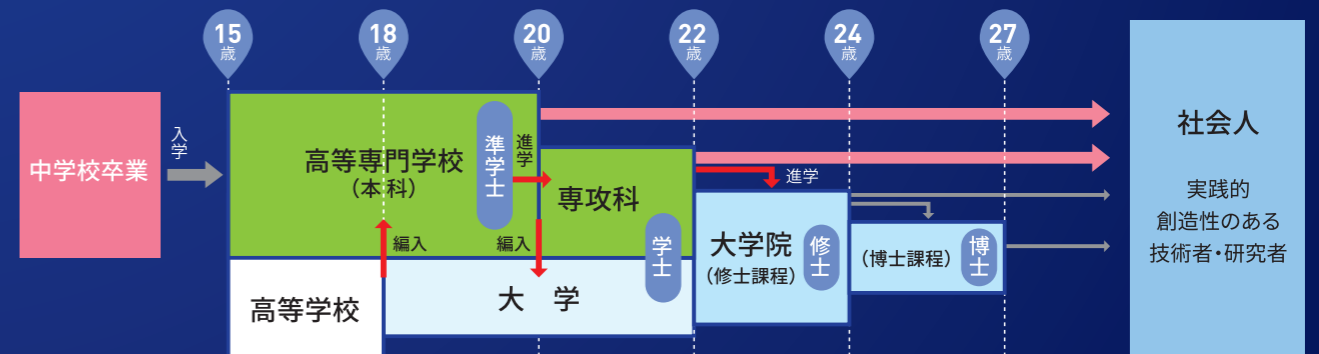
しかし、AIは“計算”しているのであって、少なくとも現在のAIは情報の“意味”を理解しているわけではありません。創造的に考えること、正しい問いを発すること、人と繋がりたいと思うこと、これらはAIにはない力です。そもそも現実の世界はAIだけで豊かになるものではなく、“モノ”も“機会”も不可欠です。

私たちは、そんな～AI時代の主人公～になれるエンジニアを育てていきたいと思っています。知識はAIが教えてくれる時代に、それを“モノ”にするために体験や実践を強化し、将来進む道に繋げるために社会との架け橋になる取組を強化してまいります。

少し難しい話をしましたが、そうしたことが自然にできることが私たち東京高専の良さだと思っています。本校の学生は、授業だけでなく放課後も含む様々な活動の中で、学生同士で学び合い、協力し合い、また、教職員とも語り、相談しながら、成長していきます。様々なコンテストや大会に挑戦する学生もたくさんいて、私たち教職員もその頑張りを支えています。そんな高専生活から見出した将来はそれぞれ異なり、就職する学生、国公立等の大学に編入学する学生、さらに2年の専攻科で研究してここで学位をとる学生と様々ですが、いずれも社会から高い評価をいただいています。

そんな東京高専の魅力を知っていただくとともに、挑戦したいという意欲ある皆さんのご入学を、教職員一同心よりお待ちしております。

高等専門学校とは… 高等専門学校(高専)は実践的・創造的技術者を養成することを目的とした高等教育機関です。



高専の 特色

- 5年一貫教育
- 実験・実習を重視した専門教育
- ロボコン、プロコン等の全国大会開催
- 卒業生に対する産業界からの高い評価
- 卒業後、更に高度な技術教育を受けるための専攻科(2年間)を設置
- 学校敷地内にある学生寮
- 家計に優しい学費

TOPICS 1

EXPO2025大阪・関西万博 「共鳴フェス-万博から描く未来社会の技術、デザイン-」 「高専未来チャレンジ」に出展

令和7年6月18日・19日に読売新聞社が企画した「共鳴フェス-万博から描く未来社会の技術、デザイン-」の「高専未来チャレンジ」に出展しました。

本校は、情報工学科の松林教授・山下准教授の研究室と(株)熊谷組の共同研究で開発された災害現場での二次災害を防止することを目的とした無人重機の遠隔操縦システム「シンクロナスリート・次世代型VRコックピットシステム」を出展。コックピットに座ってHMDを装着することで、運転席からの360度映像だけでなく、重機の音や震動、傾きまで感じることができ、搭乗者は重機の運転席に実際に座って操縦しているかのような体験ができます。操縦桿へのフォースフィードバック(デジタルハプティクス)は初公開であり、重機(ショベルカー)のバケットの反動も感じていただきました。

展示は2日間でしたが、体験希望者が途絶えることなく大盛況で、約350名の方にリアルな操縦体験を楽しんでいただきました。

学生の声 情報工学科5年 渡部 颯 さん

大阪万博への出展の機会をいただき、大変光栄に思いました。学会等とは異なり、一般の来場者が対象であったため、多くの方に楽しんでいただける体験となるよう準備しました。会場では海外からの来場者と接する機会も多く、研究内容を英語で説明できたことは、国際的なコミュニケーションに対する大きな自信につながったと感じています。



◀上段左から、松林教授、樋口校長、山下准教授
下段左から、小椋さん、衛藤さん、渡部さん、深水さん



TOPICS 2

第36回 全国高専 プログラミング コンテスト

競技部門／準優勝及びDMM.com企業賞
課題部門／敢闘賞

令和7年10月11～12日に松江高専を主管校として第36回全国高専プログラミングコンテスト(プロコン)が開催されました。高専プロコンは課題・自由・競技の3部門で構成され、本校からは課題部門1チームと競技部門の1チームが予選を通過して本選に進出しました。

競技部門は「エ。一縁結びの誘導について」というテーマのパズルゲームで、できるだけ少ない手順で得点の高い盤面を完成させるAIを開発し、その正確性や効率性を競います。決勝戦は僅差で敗れたものの、見事準優勝及びDMM.com企業賞を受賞しました。

課題部門は「ICTを活用した環境問題の解決」がテーマで、山岳地帯や災害現場の監視・点検業務のための六脚ロボットを開発。惜しくも上

学生の声 物質工学科3年 田中 瑞久さん

全国高専プログラミングコンテストにおいて、チームで競技部門と課題部門に出場しました。また、競技部門では、メンバー同士で協力しながらアルゴリズムの設計から実装までを行い、準優勝と、企業賞を受賞しました。この結果を踏まえて国際大会であるNAPROKへの出場が決定しています。課題部門では惜しくも敢闘賞でしたが、チームで力を合わせ、六脚のロボットを作り上げることができました。



位入賞はならず敢闘賞という結果でした。なお、準優勝した競技部門チームは、2026年3月にベトナムで開催されるNAPROCK国際プロコンに参加します。応援をよろしくをお願いします。

TOPICS 3

映像情報メディア学会 優秀賞

令和7年2月20日に開催された映像情報メディア学会の放送技術研究会の学生および若手発表において、専攻科電気電子工学専攻1年生の平松透和さんが「ソフトウェア無線によるSC-FDE方式の装置化の検討」の題目で発表し、優秀賞を受賞しました。

SC-FDE方式は、放送技術における新しい無線伝送方式として注目されており、装置化に向けた第一歩を踏み出したことが評価され、今回の受賞に繋がりました。

学生の声 専攻科電気電子工学専攻1年 平松 透和さん

本科5年次から専攻科にかけて、新たな無線通信方式の実用化に関する研究をおこない、その成果を学会で発表しました。研究室の中で初の試みであり、ノウハウのないところからのスタートでしたが、先生方やご協力いただいた企業の方々のお力添えにより、手探りながら確実に研究を進めることができました。3年間の継続した研究活動により、通信工学等の研究に関する知識はもちろん、難しい課題に立ち向かう力を身につけられたと感じています。



左から、木村教授、受賞した平松さん、樋口校長

K O S E N T O P I C S

※記載の学年は、受賞時の学年です。

TOPICS 4

KOSEN セキュリティコンテスト 2025

3位・6位入賞

KOSENセキュリティコンテストとは、木更津工業高等専門学校が主催する、全国の国公立高専生を対象としたCTF(Capture the Flag:課題の中に隠された答えを見つけ出す競技)の大会です。

令和7年10月25日(土)に開催されたKOSENセキュリティコンテスト2025において、全国から16高専30チームが参加の中、本校から参加の2チームは、それぞれ第3位、第6位の結果となりました。

写真のメンバーは、第3位の成績を収めたチーム(電子工学科の金さん、情報工学科の粕谷さん、島崎さん、田中さん)です。

学生の声

情報工学科4年 粕谷 駿太 さん

本コンテストでは、情報セキュリティに関する幅広い分野の課題に、チームで協力して取り組みました。終始、他チームとの接戦が繰り返されましたが、結果として3位へ入賞することができました。メンバーそれぞれが得意な分野を活かし、時にはお互いに相談し合ったことが、本結果へと繋がったのだと思います。昨年度は2位という結果であったため悔しい結果ではありますが、いつか後輩が1位を取ってくれると期待しています！



左から 金さん、粕谷さん、樋口校長、島崎さん、田中さん

TOPICS 5

第36回 廃棄物資源 循環学会

優秀ポスター賞

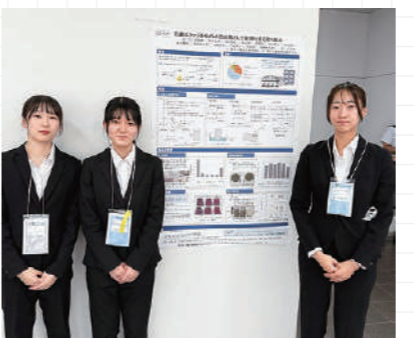
令和7年9月に開催された第36回廃棄物資源循環学会にて、本校物質工学科5年生の岡部継さん、五十嵐雅さん、岡村咲芭さん、他が発表した「石炭スラッジをセメント防水剤にアップサイクルする取り組み」が優秀ポスター賞を受賞しました。この研究は、牛乳石炭共進社様のご支援のもと3年間実施した本校の特色ある教育である「社会実装プロジェクト」による成果です。この賞は学生に限ったものではなく、大学院や民間企業の研究の中でも学術的に遜色のない成果と評価されたものです。

左から 樋口校長、五十嵐さん、岡部さん、岡村さん、庄司教授



学生の声 物質工学科5年 五十嵐 雅さん

私たちは4年後期から5年前期の1年間、社会実装プロジェクトという科目で固形石炭製造時に発生する石炭スラッジのアップサイクル方法について研究に取り組みました。得られた成果を発表した学会にて優秀ポスター賞を受賞することができました。企業の方々と話し合いを重ね、調査を行う中で仲間と意見が食い違うこともありましたが、何度も議論を繰り返して乗り越えることができました。学会発表の場では、企業や他大学の方々から多様な視点でのご意見をいただき、さらに学びを深めることができました。



TOPICS 6

第13回 高校生ビジネスプラン・グランプリ 審査員特別賞

令和8年1月11日(日)に東京大学伊藤謝恩ホールで開催された「第13回高校生ビジネスプラン・グランプリ(主催:日本政策金融公庫)」最終審査会において、本校学生によるCare Talker AI開発チームが、審査員特別賞を受賞しました。

本審査会は高市内閣総理大臣よりメッセージをいただいたり、マスコミ各社が取材に訪れたりするなど、注目度の高いものでした。

過去最大規模の応募総数となる5,460プランの中から、ファイナリスト10組に選ばれた本チームは認知症患者の徘徊を未然に防ぐAIシステムをテーマとしたビジネスプランを提案し、審査員特別賞に入賞するという優秀な成績を収めました。

学生の声

電気工学科2年 木戸 隆正 さん

高校生ビジネスプランを通して、社会課題に対して「考えるだけ」で終わらず、実際に形にして伝える力の重要性を学びました。準備や発表を重ねる中で、課題設定、解決策の具体化、相手に伝わる説明の難しさを実感し、大きく成長できたと感じています。この経験を糧に、技術を学び、人を知り、視座を高めながら、社会の課題に応えられる仕組みを生み出す挑戦を続けていきます。



本校の教育



本校の教育方針

東京工業高等専門学校ではこんな学生を求めています。

入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)

本校では、未来社会をつくる技術者(エンジニア)を育てるため次のような入学生を求めています。

理数系科目が得意で 学習意欲がある人

- **数学**や**理科**が好きで、それらの成績が**優秀**である
- **自分自身**で**規則正しい生活習慣**や**予習・復習を継続**できる
- 宿題やレポートは**期限を守って提出**できる
- **好奇心**をもって新しい学びに**チャレンジする意欲**がある
- **英語力**を伸ばしたいという**熱意**がある

ものづくりに興味がある人

- **新しいものを作り出すことに熱意**がある
- **仲間とともにチームでものづくり**がしたい

科学や技術を社会のために役に 立てたいと思う人

卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)

本校では、学習・教育目標に定める人財を育成するため、専門分野に関する知識・スキル、教養、国際性及び専門能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定します。

教育目標

教育目標の大枠は、次の4つの能力・資質を身につけ、国際化・複合化に対応できる「**ものづくりエンジニア**」の育成です。

① 社会に必要な**教養(市民性と人間力)**

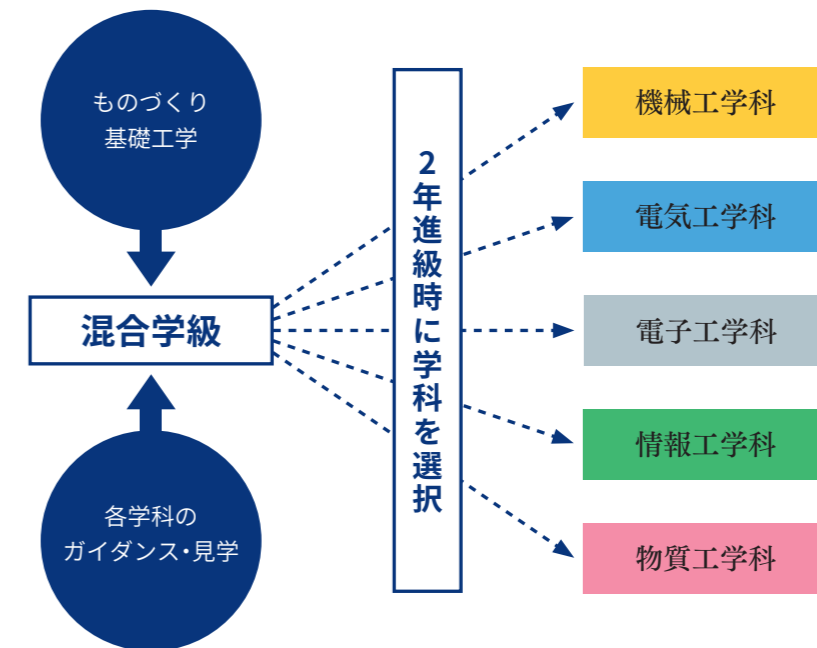
② 社会に必要な**国際性**

③ エンジニアとして必要な**基礎学力と専門能力**

④ 卒業後も成長し続けるために必要な**「学び方」の学習力**

「混合学級」と「学科選択制度」

1年次の「ものづくり基礎工学」で全5学科の学習内容を体験します。また、複数回実施される各学科のガイダンス・見学などをおし、自身に適した学科をじっくりと検討のうえ選択できます。
(各学科において定員の上限を超えた場合は、本人の希望と成績により配属学科が決定されます。)



— Students Interview —



物質工学科
宮澤 紗知子さん
令和5年度入学
東村山市立東村山第七
中学校出身



電気工学科
森村 桂大さん
令和5年度入学
小平市立上水中学校
出身

混合学級のメリットは、異なる学科を志望しているクラスメイトと1年間共に学ぶことで、2年次以降、5学科に配属された後も学科を超えた多様な人間関係を築くことができることです。また、1年次の「ものづくり基礎工学」という授業を通じて、5学科の基礎的な実験・実習をじっくり学びながら学科選びができることも魅力です。自分がそれまであまり関心のなかった学科の内容についても学ぶことができるので、視野が広がり、工学全般に共通する視点や考え方が身に付きます。さらに、研究室訪問や担任の先生からの情報も、学科選択を行うための助けとなりました。学科配属後は、同じ分野に興味を持つクラスメイトと切磋磨きながら、日々成長を実感しています。

1年次の「ものづくり基礎工学」で各学科の実験を経験したことにより、自分の興味は入学前から希望していた電気工学だという確信を得ることができました。2年次は電気工学科に進み、学科のサポートを利用して、第二種電気工事士の国家資格を取得することもできました。1年生の時のクラスメイトとは学科が分かれた今も仲良くしています。異なる専門に進んだ友人たちと協力して、それぞれの知見を活かしながら課外授業の「ものづくり」に取り組むことができるのも魅力です。休暇が長いので趣味のサッカー観戦のために全国行脚もできています。

詳細につきましては準学士課程はp 37を、専攻科課程はp 38をご参照ください。

社会実装教育の取り組み

これからの技術者が育つ「社会実装教育」

東京高専では、高専教育改革の柱の一つとして「社会実装教育」を提案し、その具現化と着実な推進に取り組んでいます。「社会実装教育」とは、イノベーションを実現できる技術者の育成を目指し、「①課題の把握、②提供する価値の考案・試作、③社会に導入する、④評価を得る」ということを社会と繋がりながら繰り返し、自ら考え主体的に行動する力を付けるとともに社会と協創する重要性を体感する今までにない全く新しい教育プログラムです。新たな視点で整備した東京高専の新教育課程(カリキュラム)へ、新たな授業科目「社会実装プロジェクトⅠ・Ⅱ・Ⅲ」(全学科共通必修科目)を導入し、本科4・5年生全員がチームワークで社会実装課題に取り組んでいます。

社会実装プロジェクトについて

相手の立場や専門性にに応じて多様な方法で円滑なコミュニケーションをとることができ、社会にアプローチして、課題を発見し、具体的かつ論理的な実効策を提案できる汎用的能力の習得を目指します。

チームワーク力を有した上でリーダーシップをとる、あるいは、他者と協調して行動することができ、倫理観を持って工学に取り組むことができる態度・志向性の習得を目指します。

クライアントの要求を解決するためのプロセスを理解し、複合的な工学的課題や需要に適合したシステム・構成要素・工程を設計することができる創造的思考力の習得を目指します。

こんなのがあったら
社会の役にたつかも

各科目の内容

社会実装プロジェクトⅠ (4年 前期1単位)

ケーススタディを主とした科目

課題発見力の重要性を学び、技術と社会の関係性を理解し、情報収集・解析から課題解決に向けた提案まで体験します。

社会実装プロジェクトⅡ (4年 後期2単位)

プロトタイプングを主とした科目

学校内外パートナーと連携した取り組みをチームワークで遂行し、社会と価値を生み出すプロジェクト基礎編です。

社会実装プロジェクトⅢ (5年 前期2単位)

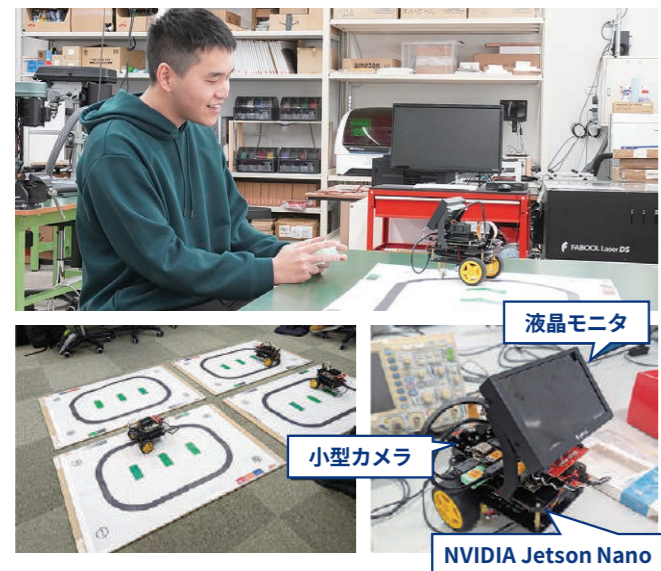
プロジェクト応用編科目

Ⅰ・Ⅱで身につけた知識とスキルを発展させていきます。社会実装志向の取り組みをより深めた相応の成果とその発信が期待されます。

「社会実装プロジェクト」取り組みテーマ例

自律移動ロボを用いたAI学習教材の開発

AI技術は急速に私たちの生活に身近な技術となりました。このプロジェクトでは、小型カメラとモニタを搭載した自走ロボットを使い、高専低学年からAIの基本的な仕組みを学べる教材を開発しています。実際に高学年の学生中心となり、組込みマイスターの取り組みの中でこの教材を使った講義を実施しました。



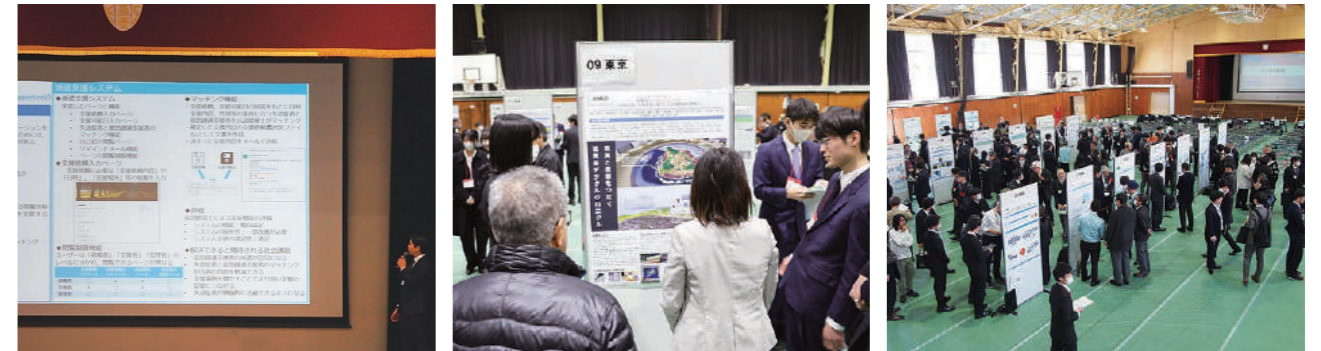
AI骨格推定×筋力センサーで実現する、在宅リハビリ支援アプリの開発

理学療法士と連携し、自宅などの専門家不在の環境でも上肢や下肢の運動機能を客観的に評価できるリハビリ支援アプリの開発に取り組んでいます。カメラによる手指の骨格推定AIで麻痺の回復度を判定するほか、独自開発のセンサーで転倒リスクに直結する足首の筋力を客観的に測定します。従来、医療機関でしか行えなかった高度な運動機能評価をアプリで可能にすることで、退院後のリハビリ継続を支え、誰もが住み慣れた場所で自立した生活を送れる社会の実現に挑戦しています。



社会実装教育フォーラム

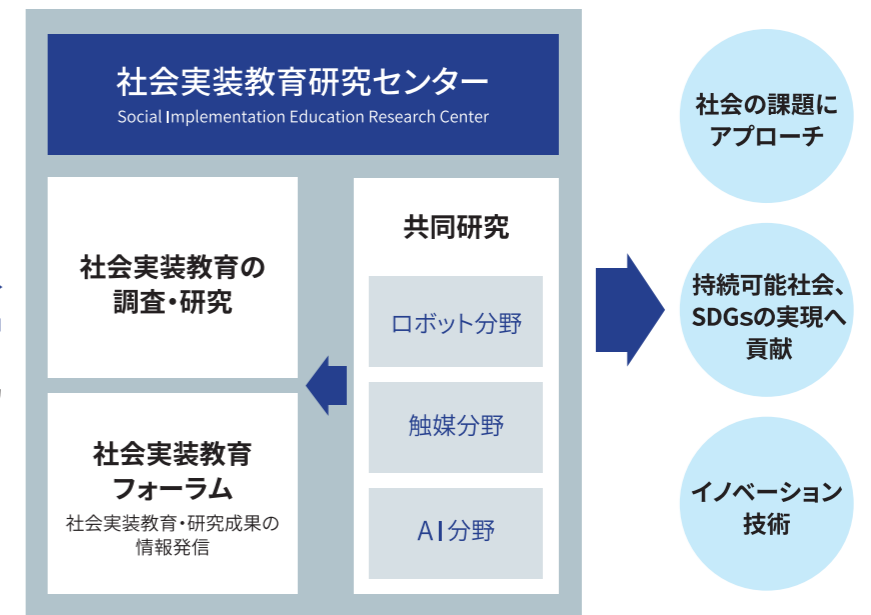
東京高専では、毎年3月に2日間に渡って「社会実装教育フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、「社会実装教育」で学生が取り組んだ成果をコンテスト形式で発表し、教育的観点からそのプロセス(課題発掘からその解決に向けた取り組み全体)を評価されるとともに、専門家的確な評価を受けます。東京高専のみならず、全国の高専から多くの学生が参加する一大イベントです。審査員となる専門家は、学識経験者、企業経営者及び技術部門責任者、関係行政機関、海外連携校教授等で構成され、専門家の立場から見た評価を直接学生に伝えていただいています。



社会実装教育研究センターの設置

本拠点は、社会実装教育研究の中核拠点としての役割を担っています。そのために、東京高専は他の国立高専と連携し、双方が有する知的資産や人的資源を協働させ、共同研究を推進しています。また、それにより、社会実装に関する研究・開発、人材育成、普及活動のさらなる充実を図ります。

国立高等専門学校機構教育研究等拠点(総合型)



- 1 社会実装に関する研究・教育の共同研究の実施
- 2 社会実装志向の共同研究と学びの場の提供
- 3 社会実装教育フォーラムの開催

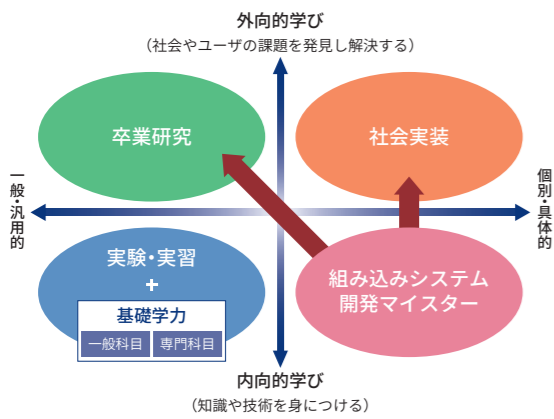
組み込みシステム開発マイスター

組み込みシステム開発マイスターとは？

東京高専では、平成20年度より全校の学生を対象とした「組み込みシステム開発マイスター制度(組み込みマイスター)」を開始し、意欲ある学生が主体的に実践的なものづくりに取り組める環境を整えています。

組み込みマイスターでは、社会実装教育における必須スキルの一つである、チームで協力しながらプロトタイプ開発を推進するスキルを身につけることができます。組み込みマイスターで培った能力および開発経験は、社会実装プロジェクトや卒業研究に役立つだけでなく、プロトタイプを活用することもできます。実際に、組み込みマイスター、社会実装プロジェクト、卒業研究にまで連携して活動し、プロトタイプの作品を社会へ実用化する段階にまで至った学生もいます。

I 組み込みマイスターの位置付け



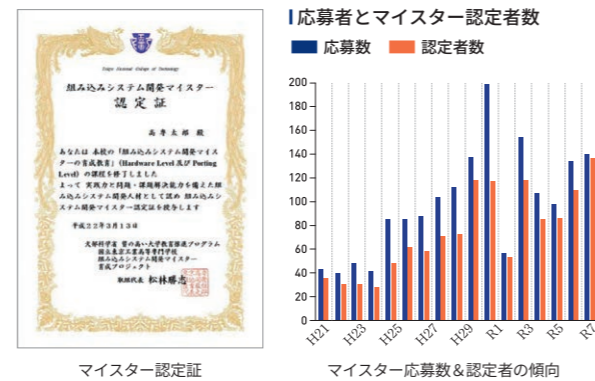
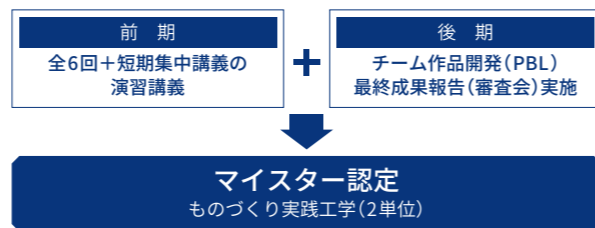
組み込みシステム開発マイスター制度

組み込みマイスターでは1年間を実施期間とし、前期は学生教育士による演習形式の講義を実施し、後期にチームで作品制作に取り組んでいます。参加学生は(コロナ禍の影響で令和2年度のみ減少していますが)参加者は年々増加しており、令和7年度は140名もの学生がマイスターに参加しました。

前期の演習講義では、ものづくりに必要な基本的な技術について、教員ではなく学生教育士(前年度までに「組み込みマイスター」を修得した学生)が中心となって教えます。演習講義は、小型コンピュータ端末(マイコン)の基礎、Androidアプリ開発、3Dプリンタの使い方など多岐に渡ります。

後期は前期の演習講義で学んだことを活かし、少人数チームで作品制作に取り組めます。また、学生教育士によるサポートを受けられ、初めて調整する学生チームでも、ものづくりに挑戦しやすい環境となっております。最終成果報告会では、教員をはじめとする審査員によって各チームの作品を評価し、優秀な作品のチームは表彰されます。

1年間のマイスター活動を終えた学生にはマイスター認定証が与えられます。2年目からは学生教育士として参加も可能であり、実習講義の指導からチーム制作のサポートまで担当します。

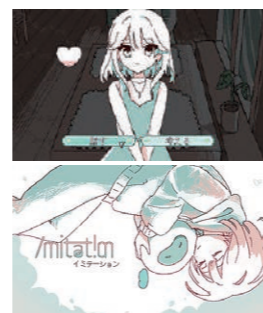


組み込みシステムで製作された作品例



六脚ロボット『Lo.M.I.H.』

令和6年度の最終報告会(HackU東京高専2024-2025)では非常に完成度の高い作品が多く、大いに盛り上がりました。最優秀賞作品である六脚ロボット『Lo.M.I.H.』は、正確な挙動や安定した操作を実現しており、実際に4回も筐体を作り直すなど試行錯誤を重ねた作品とのこと。当日の参加学生内の投票によって表彰されるHappy Hacking賞にはノベルゲーム作品の『イミテーション』が選ばれました。本作品では選択肢によって異なる展開になるようしっかりプログラミングされているだけでなく、グラフィックや音楽にも力を入れており、市販のものと同色ないほどの完成度の高さが、学生たちの好評に繋がったのだと思われます。これらの作品は、高専プロコン課題部門や創風ゲーム部門にて開発が続けられており、組み込みマイスターの垣根を超えた活動に発展しております。



ノベルゲーム作品『イミテーション』

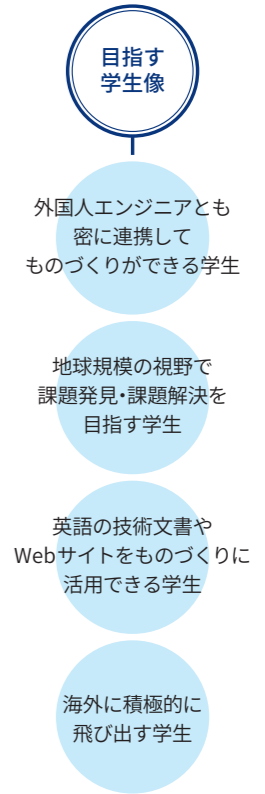
グローバル化推進の取り組み

本校では、学生を世界で活躍できる「グローバルエンジニア」として育成するため、低学年のうちから国際的視野を養う教育に力を入れています。また、学生が広く世界に目を向け、海外に飛び立つ機会を増やすため、留学体験共有会などの留学推進イベントを通じて学生の海外渡航を支援しています。

多様な取り組みを通じて「専門性」と「国際コミュニケーション力」を兼ね備えたグローバル人材の育成を目指します

低学年からの英語による専門基礎演習	海外の教育機関との国際交流	海外インターンシップの実施
<p>1年生「ものづくり基礎工学」では外国人講師による英語での専門基礎演習を実施</p>	<p>海外の教育機関との国際交流イベントの開催(写真は南フロリダ大学学生との交流会)</p>	<p>専攻科では海外の企業や研究機関等でのインターンシップをサポートしています。</p>

国際的見識と先見性を備えたエンジニアの育成



令和7年度の主な取り組み

- 本校では様々な課外講座を企画・実施しています。また、国際寮1階ラーニングエリアにEnglish Caféを開設し、定期的にイベントを開催しています。
- 英語基礎力養成講座
 - エンジニアのための英会話講座
 - TOEIC®スコアアップ対策講座
 - 協定校教員による英語を用いた専門科目集中講座
 - 南フロリダ大学学生とのオンライン交流&対面交流
 - Tokyo Global Gateway 体験型英語学習イベント
 - 国内外で活躍するゲスト・スピーカーによるキャリア講演会
 - 留学体験共有会



英語による専門科目集中講座



留学体験共有会

アントレプレナーシップ教育環境

起業家工房がオープン

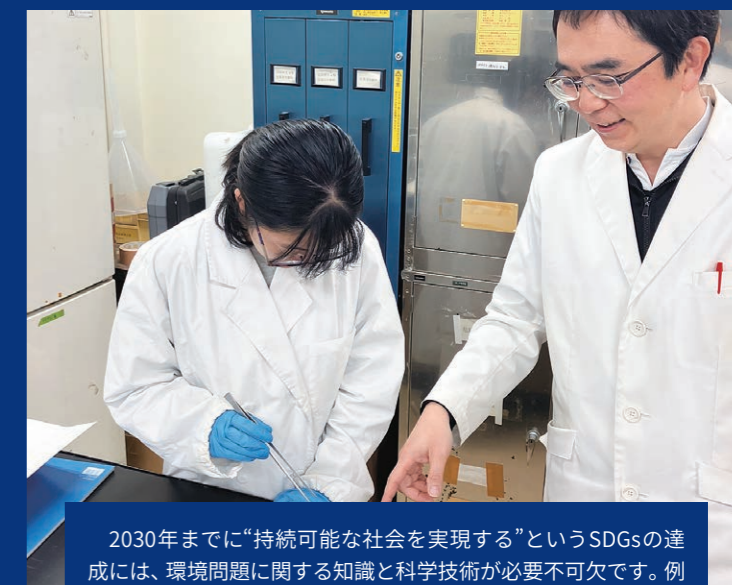
文部科学省高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業により「起業家工房」が2023年度に新たに設置されました。起業家工房は、学生が自由な発想で様々なことにチャレンジできるスペースとして、チームや技術者等とのミーティングにも活用できるスペースのほか、一般的には使えないような高度な機器も数多く導入されており、教職員等のサポートのもと、学生が主体的に活動できる環境が整備されています。

アントレプレナーシップに係わる様々な取り組み、例えば本校の「社会実装プロジェクト」、「組み込みマイスター」、「プロコン、ロボコン」などの各種コンテストなどへの積極的な参加・活動を後押しします。



起業家工房試作室 フルカラー3Dプリンタ レーザー基板加工機 セラミック素材3Dプリンタ 起業家工房PC室 起業家工房解析室

研究活動の成果(商品化)



2030年までに“持続可能な社会を実現する”というSDGsの達成には、環境問題に関する知識と科学技術が必要不可欠です。例えば、土壌の汚染は人の目では見えません。それを見える化することが土壌汚染問題の解決に重要です。なんとかこの難しい課題を解決したいという思いで学生と教員が力を合わせて、社会実装教育として“重金属検出キット”を創りました。土と水の混合液に浮かべて15分待つだけで、重金属が土に入っているとキットの色が変わるといった画期的なものです。現在、この研究は民間企業との産学連携による共同研究に発展しており、一部は商品化されています。

この研究に携わっている学生いわく「世の中の役に立つ研究をしているという充実感が大きく、とてもよい勉強になります」とのこと。民間企業という実社会の方々と学生との直接のやりとりは、高専が志す実践的な技術者を育成するという目的にも合致する優れた教育の機会にもなっています。

地域団体との研究活動



要介護・要支援状態となる高齢者の増加抑制を目的として、転倒や認知症の予防となる取組を、対話ロボットやタブレット端末内のキャラクターとの対話を楽しみながら、ゲーム形式で習慣的に実施可能となることを目指す、介護予防システムの研究開発に従事しています。

この取組は八王子市内の保健福祉センター、高専近隣のシニアクラブ、神奈川県藤沢市に所在する介護老人保健施設、および杏林大学保健学部といった様々な組織と連携し、高齢者の皆様にシステムを実際に使っていただき意見を頂戴しながら、2011年より進めてきました。

近年はコロナ禍のため高齢者向け実験の実施は困難でしたが、オンラインでのアンケート調査や学生を対象とした実験を行っています。今後は、各々独立に開発している転倒予防/認知訓練システムと、利用者システムとの対話を促進する知的対話エージェントを統合した包括的システムの実現に向け、各所との連携を一層強化しながら開発を進めます。また、日本と同様に高齢化が進むアジア諸国での実験実施も計画しています。

産業界との研究活動



電圧の大きさを変えたり周波数を変えたりすることで、効率よくモータを動かすパワーエレクトロニクスについて研究しています。パワーエレクトロニクスの技術はスマートフォンのような小型機器から電車・自動車などの大型機器にまで幅広く使用されており、エネルギーを効率よく(損失を少なく)使用することで“持続可能な社会の実現”に貢献しています。最近、電力変換装置(モータ用の電源)の動かし方を工夫することによりモータの動作は変えないまま電磁音や電磁ノイズを低減する技術や、太陽光発電などの直流発電システムを直流のまま電圧変換する技術を研究しています。これにより、防音の設備や電磁ノイズ対策用の付属部品を削減したり、損失を少なくしたりすることができます。

この研究は、学生も参画して電機メーカーや大学と共同研究をしています。定期的に共同研究先の担当者と打合せをする中で、新しい解決法を提案し、回路シミュレーションによる評価や実験による検証をしています。さらに、学生には打合せにおいて評価内容を報告してもらっており、その成果を学会で発表してもらっています。

産学連携 及び 地域連携 を推進しています。

東京高専は企業や地域が抱える

リアルな課題に関して

先進的・独創的分野の



- Profile -



電気工学科教授 綾野 秀樹
 専門分野 : 電力変換工学
 主な担当授業 : 電気機器Ⅰ・Ⅱ
 電磁エネルギー変換特論
 エネルギーシステム工学
 電気回路Ⅱ

- Profile -



情報工学科教授 北越 大輔
 専門分野 : 機械学習
 主な担当授業 : データマイニング
 実践プログラミング

- Profile -



物質工学科教授 庄司 良
 専門分野 : 環境工学、生物工学
 主な担当授業 : 生物化学工学
 環境工学特論
 化学工学特論
 物質工学実験Ⅲ

協定等締結一覧表

※締結日付順

東京高専では、教育・研究等の連携を目的に大学等と、地域活性化や産学連携を目的に産業界・行政機関・金融機関と、理科教育の充実・支援を目的に教育委員会と協定を締結しています。

大学研究機関等	
早稲田大学大学院 情報生産システム研究科	平成 16. 6. 2
北陸先端科学技術大学院大学	平成 17. 5. 24
東京科学大学(旧東京工業大学)	平成 23. 4. 1
東京科学大学(旧東京医科歯科大学)	平成 26. 1. 1
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科	平成 28. 2. 8
千葉工業大学	平成 28. 9. 30
メトロポリタニア応用科学大学	平成 29. 8. 14
上越教育大学	令和 3. 3. 16
タイ高専(KOSEN-KMUTT)	令和 7. 3. 3
国立暨南国際大学(台湾)	令和 8. 3. 20

産業界	
八王子商工会議所	平成 21. 1. 30
相模原商工会議所	平成 21. 2. 5
東京高専技術懇談会	平成 27. 3. 24

行政機関等	
相模原市	平成 21. 2. 5
八王子市	平成 21. 2. 10
相模原市教育委員会	平成 25. 9. 11
八王子市教育委員会	平成 26. 1. 14
東京都立産業技術研究センター	平成 26. 3. 26
神奈川県	令和 6.12.13
情報通信研究機構	令和 6.12.17

金融機関	
多摩信用金庫	平成 19. 9. 26
西武信用金庫	令和 3. 1. 8

④ 受託試験	件数 10	総額(単位:千円) 952
--------	-------	---------------

本校の研究装置を利用して、分析、測定などを行っています。ESCA(光電子分光複合分析装置)による表面分析、SEM(走査型電子顕微鏡)による分析などができます。

⑤ 寄附金	件数 23	総額(単位:千円) 33,811
-------	-------	------------------

学科、研究プロジェクト、産業技術センター等の教育・研究組織や教員個人に対して、教育研究活動支援のために資金・設備などをご提供いただいています。本校の教育研究の充実に重要な役割を果たしています。本校に対する寄附金は、法人税法、所得税法による税制上の優遇措置が受けられます。

⑥ その他 競争的外部資金	件数 6	総額(単位:千円) 7,488
---------------	------	-----------------

国土交通省建設技術研究開発助成、(公財)精密測定技術振興財団、(一社)電子情報通信学会東京支部、(公財)高橋産業経済研究財団、(公財)JKA、他

① 科学研究費助成事業	件数 25	総額(単位:千円) 15,962
-------------	-------	------------------

科学研究費助成事業(科研費)は、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする国の競争的研究資金で、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。本校では毎年10~25件程度の研究が実施されています。

研究種目	件数	総額(単位:千円)
基盤研究(B)	1	1,170
基盤研究(C)	17	18,356
若手研究	3	3,770

② 共同研究	件数 25	総額(単位:千円) 15,962
--------	-------	------------------

民間企業等の研究者と本校の教員が、共通のテーマについて共同で研究を行う制度です。両者のアイデア・意見を交換しながら研究を進めることにより独創的な研究成果が期待できます。

③ 受託研究費	件数 2	総額(単位:千円) 3,981
---------	------	-----------------

民間企業・公的研究機関から委託された課題についての研究や、造形装置による試作品製作などを行っています。

外部資金等受入

令和6年度

一般教育科 (全5学科共通)

一般教育科の科目は、数学・物理・化学・英語・国語・社会・体育などで構成され、全学科の学生が共通して学びます。これらの科目は、専門的な知識や技術を習得する基盤として重要であるだけでなく、豊かな人間性や高度な社会性を育む役割も担っています。特に、理系科目は工学の基礎を支え、論理的思考力を養う一方で、文系科目は社会の仕組みや人間理解を深めるための基礎となります。

また、高専では5年間の一貫教育の中で、低学年において一般科目を多く学び、高学年では専門科目に重点を置きカリキュラムが採用されています。これにより、効率的かつ体系的に学習を進め、大学受験を前提とした高校とは異なるアプローチで、より深い知識と実践的なスキルを習得することが可能です。さらに、TOEIC対策講座など実用的な授業や学生自身の興味関心を深める選択科目等も充実しており、エンジニア・研究者として社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や幅広い視野を養うことができます。

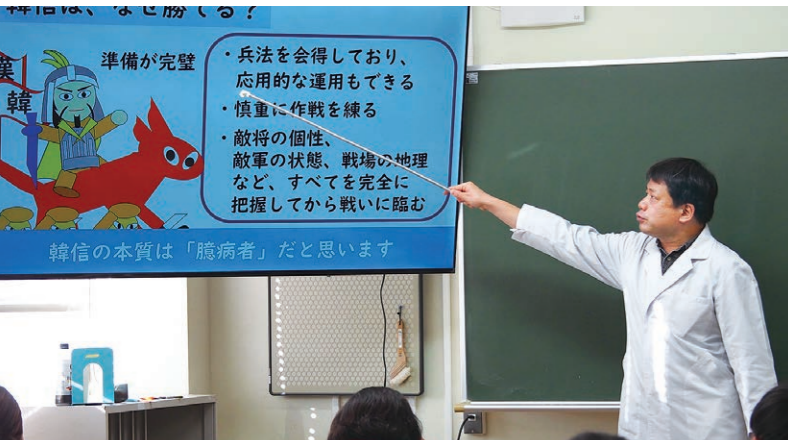
▼ 1年生「体育Ⅰ」



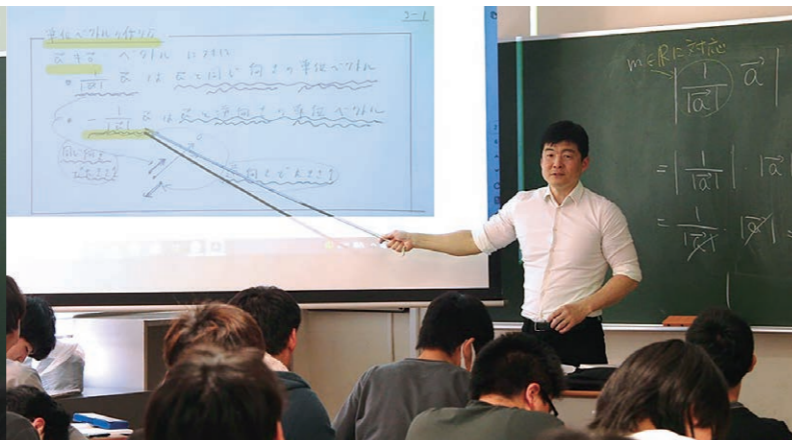
▼ 2年生「ReadingⅢ」



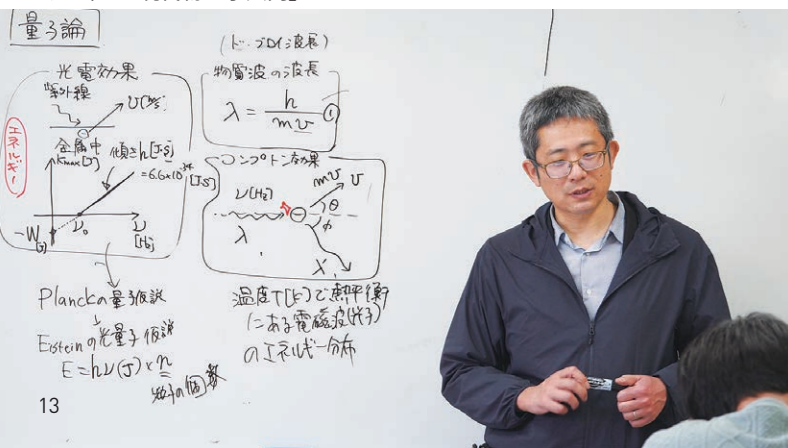
▼ 1年生「国語総合Ⅱ」



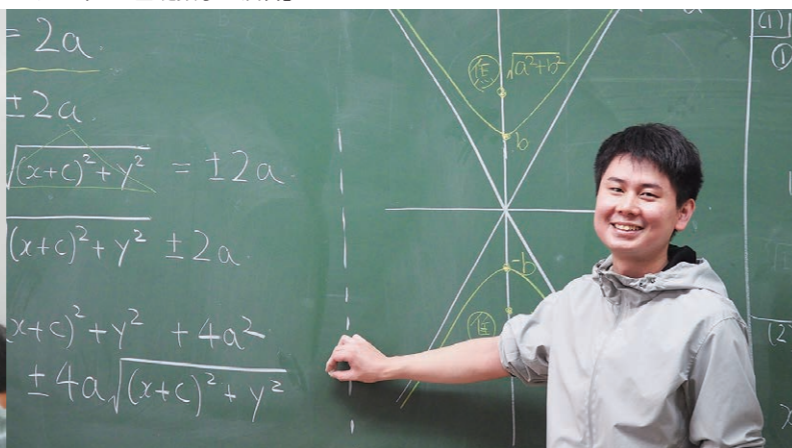
▼ 2年生「線形代数Ⅰ」



▼ 4年生「現代物理学入門」



▼ 1年生「基礎数学Ⅱ演習」



Curriculum カリキュラム ※ は選択科目

こんな一般科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
	Reading, Grammar & Writing		TOEIC English	
	Oral Communication			Comprehensive English
Listening	Science English			
	国語総合			
文章表現法			文章表現法	
哲学倫理	社会と文化から見る歴史	科学技術から見る歴史	技術者のための哲学・倫理	
現代社会論			教養選択	
芸術				
健康と福祉				
体育				
	物理			
	化学		地球・環境・省エネルギー	ライフサイエンス/バイオテクノロジー
基礎数学	線形代数		応用数学	
基礎数学演習	微積分	解析	微分方程式	
		確率統計	数学総合演習	

Field of learning 一般教育・学びのフィールド

こんなことに力を入れています



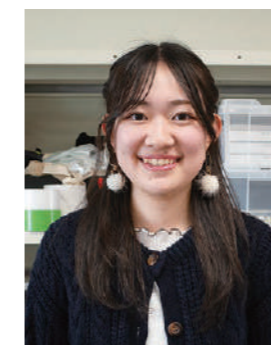
一般教育科の科目は、各専門分野で活躍するための基盤となる大切な学びです。専門的な知識や技術を身につけるには、幅広い教養が欠かせません。例えば、国際的に活躍するエンジニアには英語力が必要であり、論理的思考を鍛える数学や、社会との関わりを学ぶ科目も重要です。

私自身、将来は宇宙分野のエンジニアとして活躍したいと考えており、宇宙開発の最前線は欧米が中心だからこそ、英語の重要性を強く感じています。さらに、数学や社会に関する学びも将来に役立つと実感しています。一般教育科での学びを通じて、視野を広げ、成長していきたいです。

機械工学科 石亀 和輝さん 令和4年度入学 調布市立第三中学校出身

▶ 第18回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストにおいて本校チームが第2位に入賞

Voice 学生・教員の声



電気工学科 澤田 優愛さん
令和5年度入学
立川市立立川第五中学校出身

一般科目では、基礎から発展へ色々なステップを踏んで知識を身につけることができます。そして、そこで取り得た知識が専門科目へと繋がります。活かせる知識を学べるので、とても有意義です。また、一般科目の先生方もそれぞれ研究テーマを持っておられます。そのため、その研究についても教えてください大きな学びになりました。高専だからこそ味わえる、深く詳しくそして、繋げられる勉強を楽しんでみてください。



理科 高橋 幹弥 助教
専門分野：ブラックホール天文学

一般教育科では、各学科で学ぶ専門的な科目の基盤となる自然科学系科目(数学・物理・化学)や、科学技術者としての国際性や倫理観、柔軟な思考力を養う基盤となる人文系科目(英語・国語・社会・体育・芸術)を提供しています。一般教育科の教員も多岐にわたる専門分野を持っていることも高専の特長の一つです。工学に限らず幅広い興味・関心を広げて、豊かで充実した高専生活・人生を送りましょう。

機械工学科

機械工学科
紹介動画



機械工学科では、創造性豊かな発想で機械を構想から設計・製作・保守までできる技術者の育成を目指し、以下の学習・教育目標を設定しています。

- ①機械工学に関わる基礎学力を備え、現実の問題に応用することができる。
 - ②機械システムの発案から設計および製作までを行うことができる。
 - ③機械工学と電子・情報工学の両者に関わる基礎学力に基づいて、メカトロニクスを体現した機械システムを設計・製作できる。
- この目標を踏まえ、本学科の教育課程は、「ものづくり工学系」科目群、「機械の力学系」科目群および「メカトロニクス制御系」科目群の3本柱で構成されています。ものづくり工学系科目では、最新の3次元CAD等を利用した設計手法を学ぶとともに、その加工技術を、附属のものづくり教育センターで実践的に学びます。機械の力学系科目では、機械工学の基礎を構成する材料力学、流体力学、熱力学、機械力学等を中心とした理論の基本を学び、機械の構造および動作原理の基本を理解します。メカトロニクス制御系科目では、機械を制御する手法について学び、機械の知能化に関する基本を身につけます。

▼1~3年生「地下道建設現場の見学」



▼2年生「機械工学実験実習」



▼5年生「小型ロボットを用いた模擬工場のレイアウト設計」



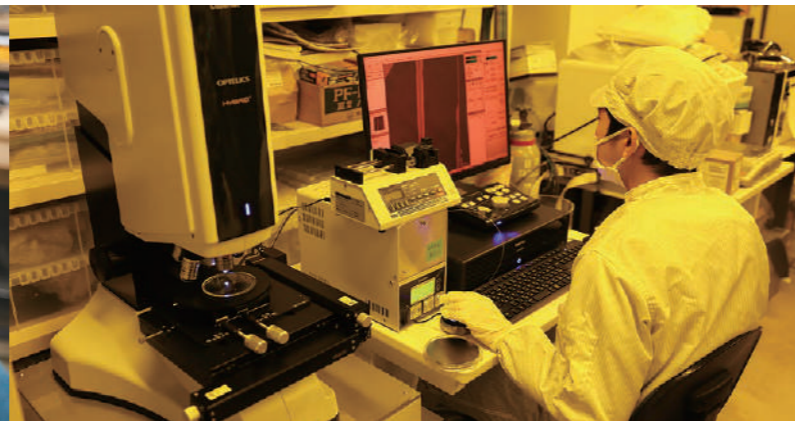
▼5年生「卒業研究：生成AIを利用したロボットアームの制御」



▼5年生「卒業研究：協働型双腕ロボット」



▼5年生「卒業研究：クリーンルームでの精密微細加工」



Curriculum カリキュラム

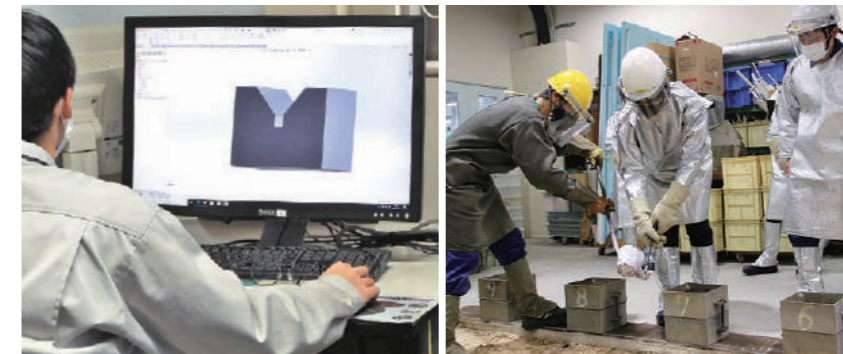
こんな専門科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
情報基礎	機械工学展望		インターンシップ	経営工学
	材料力学		機械材料学	加工学
	機械工学基礎力学	機械設計法		CAD/CAM/CAE
		機械力学		伝熱工学
			熱力学	先端テクノロジー
			流体力学	統計リテラシー
		メカトロニクス	応用物理	発電・電気エネルギー
			機械数学	基礎制御工学
			システムインテグレーション	計算機システム
			基礎電気工学	情報処理基礎
			基礎電子工学	コンピュータ援用計測制御
			通信伝送工学	ロボット・モビリティ工学
			情報通信ネットワーク	
			デジタル信号処理	
			知識情報工学	
ものづくり基礎工学	機械工学実験実習、演習			
			社会実装プロジェクト	

卒業研究

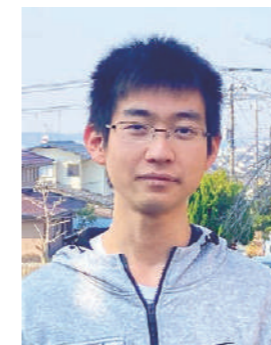
Field of learning 機械工学・学びのフィールド

こんなことに力を入れています



機械工学やものづくりに関する知識を実践的に身につけることができるように、実習や演習科目を2~4年次に配置しています。また、実習演習科目で学んだ事項について理論的な知識で補強するために、関連する講義科目を主に2年次以上に配置しています。ものづくりの動機から始まり、設計、製作、評価の過程を重視し、試作・評価と修正を繰り返しながら合理的で最適な解を導く方法を習得します。

Voice 学生・教員の声



樋口 大生 さん
令和3年度入学
八王子市立元八王子中学校出身

機械工学はスマートフォンや家電など身近な製品から宇宙開発などの大規模なものまでさまざまな分野で活用されています。東京高専の機械工学科では、機械力学や流体力学、材料力学などの4力学を中心に学んでいき、理論だけでなく、工場での実習や実験を通じて実際の技術に触れながら学ぶことができます。さらに、4年次から始まる社会実装プロジェクトでは、これまでに学んだ知識や技術を活かしてもものづくりに取り組み、社会で求められる実践的な技術を身につけることができます。



小山 幸平 准教授
専門分野：熱流体工学

機械工学は古くて新しい学問です。身の回りの生活に密着した製品から、ロボット、エネルギー、航空宇宙や医療など、あらゆる場面で社会を支え、今も進化を続けています。本校機械工学科では、学生1人1人が実際に手を動かし、工具や工作機械を操作してものづくりを学習する授業が多く、実践的な知識や技術を身につけることができます。ものづくりを堪能できる機械工学科で充実した高専生活を送りましょう。

電気工学科

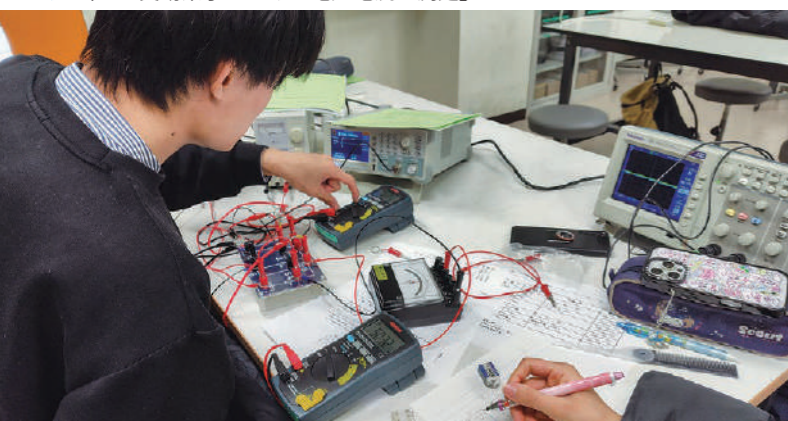
電気工学科
紹介動画



電気エネルギーはSDGsでいわれる持続可能な社会に必要な不可欠なクリーンなエネルギー源です。電気工学科では、その電気エネルギーを「作る」、「運ぶ」、「使う」、「貯める」技術について総合的に学びます。それらは、太陽光発電や風力発電などの新エネルギー技術とスマートグリッドシステム技術、電気自動車を代表とするパワーエレクトロニクスの省エネ技術から、モータ制御技術、GPSナビゲーション通信技術や情報処理、自動運転などのAI技術、Liイオン電池や燃料電池など携帯デバイスに必要な技術などについて学びます。

授業では、電気回路、電子回路、電磁気などの専門基礎技術を重視し、講義と実験・演習とを組み合わせることで体験的に身につけることができます。また、高学年では各専門性を深めるために、情報処理、通信、制御、電力、電子物性、半導体など科目を配置し、応用技術を学ぶことができます。さらに、5年生では学んだ専門知識を組み合わせ、新しい価値を生み出すシステム開発能力を養うために、卒業研究に取り組み研究開発能力を身につけます。このように、電気工学科では電気電子分野の総合学科という特徴から、就職・進学先は幅広く、様々な分野でグローバルに活躍する人材を育てています。

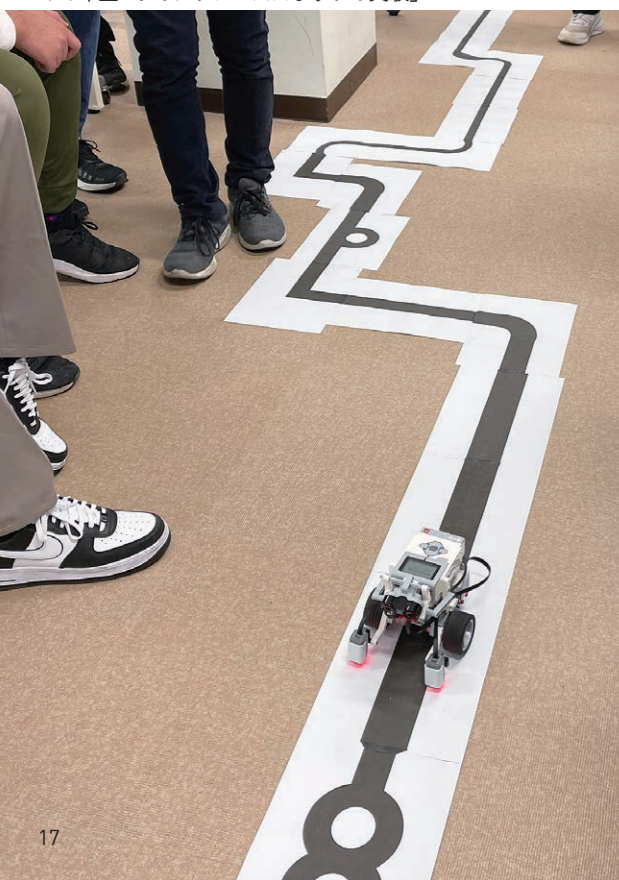
▼3年生「受動素子における電圧電流の測定」



▼2年生「コンデンサの充放電を利用した3分タイマーのはんだ付け」



▼3年生「ライトレースロボットの実験」

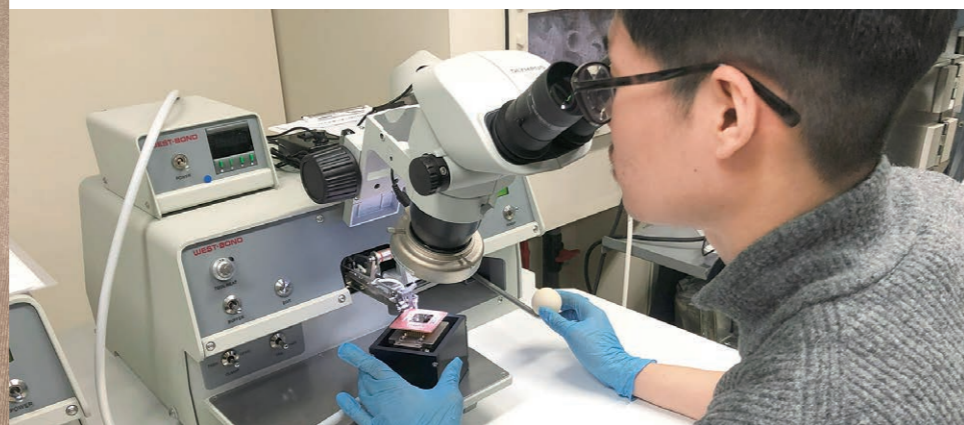


▼4年生「CADツールを使用した論理回路設計の実験」



▼3年生「AIによる画像認識に関する実験」

▼5年生「MEMSセンサのワイヤボンディング」



Curriculum カリキュラム

こんな専門科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
情報基礎	電気・電子工学展望		インターンシップ	経営工学
			応用物理	統計リテラシー
			電気数学	先端テクノロジー
			電気電子計測	発電・電気エネルギー
			電気電子計測	電力システム
			電気機器	
			通信伝送工学	計算機システム
			情報通信ネットワーク	情報処理基礎
			デジタル信号処理	
			知識情報工学	ロボット・モビリティ工学
			制御工学	光エレクトロニクス
			電子物性工学	生体材料工学
			半導体デバイス	
			環境・エネルギー工学	
			システムインテグレーション	
			社会実装プロジェクト	
ものづくり基礎工学		電気電子工学実験		

卒業研究

Field of learning 電気工学・学びのフィールド

こんなことに力を入れています



電気系資格の登竜門である「第二種電気工事士」の資格取得講座を開講しています。電気系基礎科目である電気回路や電磁気学の学力向上も図れるとともに、資格保有者にしか行えない電気工事ができるため、就職の際にも強いアドバンテージになります。合格した上級生が下級生を教えるなどの学生相互の学び合いがなされ、学習へのモチベーションアップにもつながっています。実技試験の工具と材料等は学科で準備しております。

Voice 学生・教員の声



堤 仁衣奈さん(左)
令和4年度入学
横浜市立平戸中学校出身

小嶋 優介さん(右)
令和4年度入学
川崎市立野川中学校出身

根本 雄介 講師
専門分野：
プラズマ科学・電力工学

電気工学科では、幅広い分野を学ぶことができるので、やりたい事が決まっていなくても迷っている人にもおすすめです。実験では、班を組んで回路をつくり、測定をすることで、授業で学んだ知識をより深めることができます。テキストなどがとても細かく分かりやすいので、スムーズに実験を終わらせることができます。先生達も本当に全員優しいので、実験やテスト前など、分からないところはすぐに教えてくれます。資格取得の練習工具セットの貸出、先輩や先生からの指導など手厚いサポートがあります。私達も第二種電気工事士という資格を取得し、今は後輩や友達に教えています。実験や授業は、自分の時間を長くとれるような時間割になっています。勉強や部活動、趣味など、自分達の好きなことをして楽しく過ごしています！

電気工学科は、「理論と実践で、地球に優しい解決策を生み出す人材を育てる」を理念に、電子物性・デバイス、情報・通信、エネルギー・制御分野を網羅しています。授業と連動した実験では、回路特性計測やAIによる画像認識、モータ制御など実践的に学習をします。3Dプリンタや旋盤などを備えたものづくり工房でアイデアを形にできる環境も魅力です。さらに、資格取得のサポートもあり、未来を担う人材としての知識と実践力を養います。

電子工学科

電子工学科
紹介動画



生成AI(Artificial Intelligence:人工知能)によって新たな産業革命が起ころうとしている今日、電子工学分野ではAI向け半導体の需要が世界中で高まっています。その開発と安定供給のために、AI向け半導体技術者が世界中で必要とされています。

電子工学科で学んだ卒業生は、AI向け半導体をはじめとする最先端技術分野に貢献できる研究者・技術者として、大学や企業の方々から高く評価されています。すぐに手を動かしてモノづくりや測定を行うことができ、高度な理論に基づいたタイムリーな分析・報告ができる、いわゆる「即戦力」だからです。これは最適なカリキュラムと計測機器が1人1台割り当てられる恵まれた実験環境によって育まれます。このようにして、電子工学科の学生は全員「即戦力」となって卒業していきます。

Interview



先輩に聞いてみよう!

Q 選んだ理由

- 電子工学は世の中のほぼ総てに関わっているから。
- 電気回路からAI、半導体など幅広い分野を学べるから。
- 将来の選択肢が広いから。
- 先輩との相談や、学科見学の際の研究内容。

Q 学べたこと

- 電気電子の基礎、ハードウェアとソフトウェアの両立。
- レポート作成に必要な情報のまとめ方、伝え方。
- 実験を通じた、回路の構成や役割に対する深い理解。
- 期限を守る大切さ、挨拶の大事さ、自主的に調べることに。

Q 良かったこと

- 理論や構造に基づいて回路などを作る力が身についたこと。
- 友達と協力して成し遂げる経験ができたこと。
- 先生方が親身にサポートしてくれたこと。
- 学習やものづくりに必要な環境が整っていること。

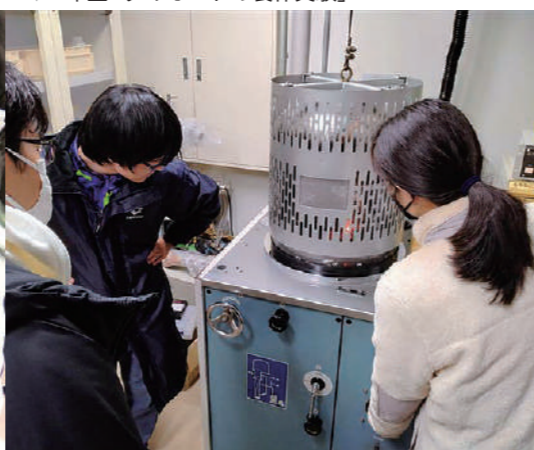
▼ 2年生「論理回路実験」



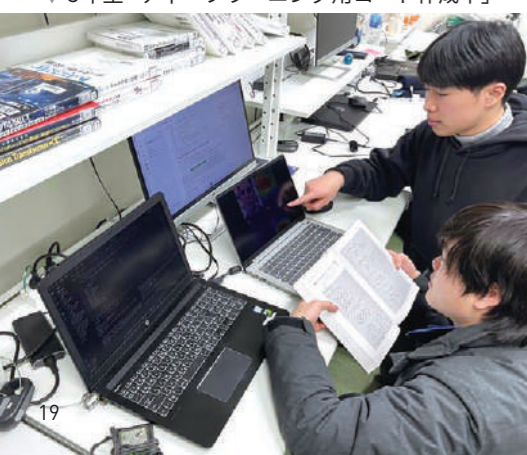
▼ 3年生「筋電信号計測実験」



▼ 4年生「ダイオードの製作実験」



▼ 5年生「ディープラーニング用コード作成中」



▼ 5年生「卒業研究：脳派信号計測」



▼ 4、5年生「社会実装：電気自動車」



Curriculum カリキュラム

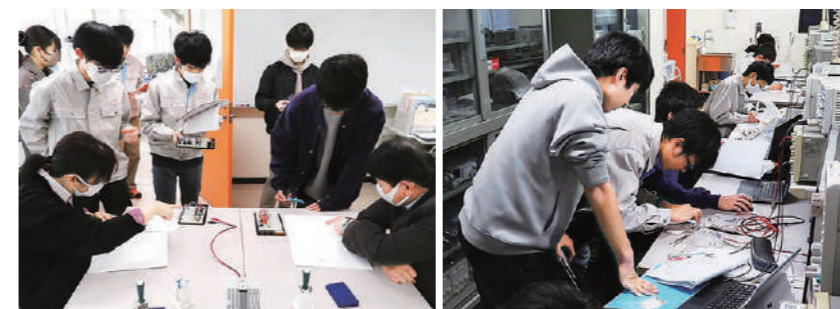
こんな専門科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
情報基礎	電気・電子工学展望		インターンシップ	経営工学
			応用物理	統計リテラシー
			電気数学	先端テクノロジー
		電気回路		発電・電気エネルギー
		電磁気学		電気機器
	デジタル回路	電子回路	プログラミング応用	計算機システム
		電気電子計測		情報処理基礎
	プログラミング言語		通信伝送工学	基礎制御工学
			情報通信ネットワーク	ロボット・モビリティ工学
			デジタル信号処理	生体材料工学
			知識情報工学	ワイヤレスシステム
			システムインテグレーション	電気関係法令
			電子物性工学	
			先端電子デバイス	
			環境・エネルギー工学	
ものづくり基礎工学		電気電子工学実験		
			社会実装プロジェクト	

卒業研究

Field of learning 電子工学・学びのフィールド

こんなことに力を入れています



電子工学科では、社会人基礎力としても重要なコミュニケーションスキルと報告書作成スキルの定着に力を入れています。学生実験では、実験担当教員と実験結果について1対1で討論を行い、実験目的を理解します。そして報告書は、指摘箇所があれば、再度、議論を繰り返しながら完成させていきます。学年進行でこの工程を繰り返すため、無理なく学生自身がスキルアップを実感することができます。

Voice 学生・教員の声



小野 柚月さん(左)
令和4年度入学
川崎市立平中学校出身

大塚 麒之介さん(右)
令和4年度入学
横浜市立緑が丘中学校出身

電子工学科では、回路や素子の理論を学ぶだけでなく、自ら手を動かしながら実験に取り組んでいます。回路製作からプログラミングまで幅広い分野を学び、事前学習をもとに実験結果を確認しながら、友達や先生と議論を重ねることで理解を深めています。学科内は穏やかな雰囲気、それぞれが好きなことに取り組みながら、お互いに支え合い、多くのことを学んでいます。大変なこともあります、その分、充実した学校生活を送っています。



新田 武父 准教授
専門分野：機能材料・デバイス

私たちの生活の中において身近な電化製品(スマホやPC)、ロボット、車には電子工学の技術が利用されています。電子工学科では半導体や医療電子、通信やソフトウェア、情報セキュリティなど多くの専門の先生が在籍し、色々な経験や勉強ができる学科となっています。また、実験室は一人一台の実験機器が揃っており、実験環境も充実しています。あなたも明るく楽しくそして刺激のある学校生活を電子工学科で送りませんか?

物質工学科

科学技術の進歩において化学(物質工学)の担う役割は大変重要です。バイオテクノロジーおよび環境・エネルギー問題、新規材料開発は言うまでもなく、ナノテクノロジーやIT分野においても化学の力は必要不可欠です。身近なもので地球温暖化からスマートフォン、ヘルスケアなどにも化学の力がキーテクノロジーとなっています。化学は新たな技術の創出を可能とし、技術立国(ものづくりを含む)の再生に欠かせません。

このような状況のもと、物質工学科では次の学習目標を掲げ、教育を行っています。

- ①基礎学力および応用能力を身につける。
- ②優れた実験技術を身につける。
- ③技術者の責任や技術者倫理を自覚できる。
- ④数学、物理学、情報技術に関する知識を身につけ、それらを応用できる。
- ⑤論理的な思考、記述、発表、コミュニケーション能力を身につける。
- ⑥最先端の研究に触れ、グローバルな視野を身につける。

物質工学科
紹介動画



Curriculum カリキュラム

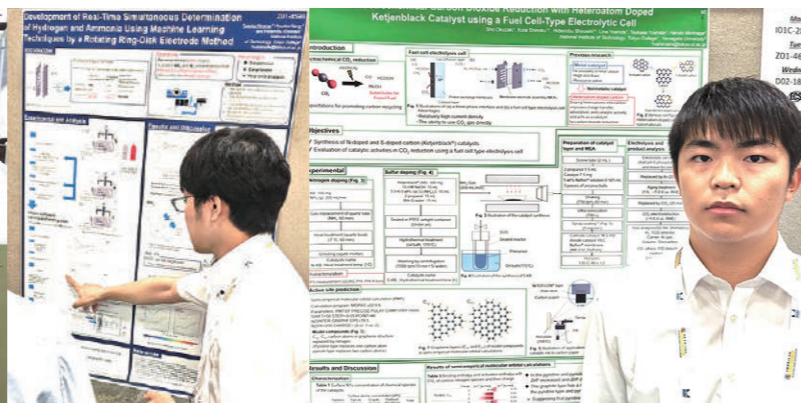
こんな専門科目を学びます

1年	2年	3年	4年	5年
情報基礎	物質工学展望 情報処理演習		インターンシップ 応用物理	経営工学 先端テクノロジー 統計リテラシー 高分子化学
			有機化学	
	分析化学 無機化学		工業化学	化学工学 物理化学
		物理化学	環境・エネルギー工学	生体材料工学
	基礎生物		生物化学	卒業研究
			基礎電気工学 基礎電子工学 通信伝送工学 情報通信ネットワーク デジタル信号処理 知識情報工学 システムインテグレーション	基礎制御工学 発電・電気エネルギー 計算機システム 情報処理基礎 コンピュータ援用計測制御 ロボット・モビリティ工学
ものづくり基礎工学	物質工学基礎実験	物質工学実験 物質工学創造実験	社会実装プロジェクト	

▼3年生後期「界面活性剤のイオン対抽出と定量実験」



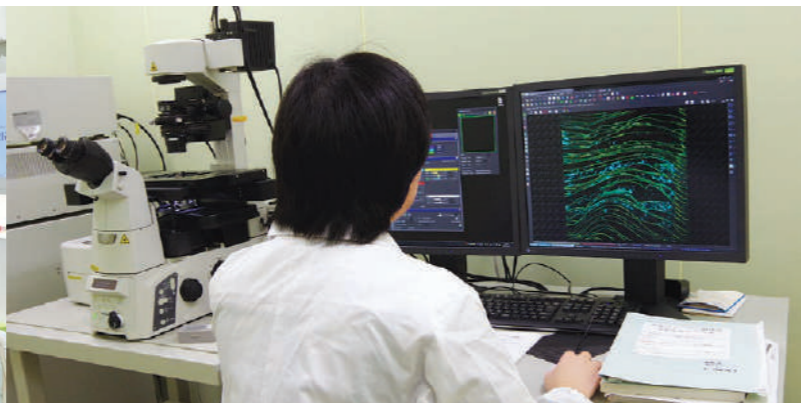
▼「ハワイで開かれた国際学会(Prime 2024)での本校学生によるポスター発表」



▼2年生「工場見学：森永エンゼルミュージアム(2025年度)」



▼「共焦点レーザー顕微鏡による細胞内の物質の観察」



▼3年生「研修旅行：富山(2025年度)」



▼「ノーベル化学賞の研究で開発されたAI(AlphaFold2)によるタンパク質構造予測」



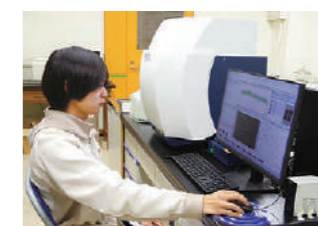
Field of learning 物質工学・学びのフィールド

こんなことに力を入れています

材料・バイオ・環境の三本柱からなる物質工学科では化学のみならず他の関連する学問分野も幅広く勉強します。3年生までは化学を主体に生物学、物理学、コンピューター等の基礎を学び、また、実験、実習を行います。4年生後期からは卒業研究に打ち込みます。

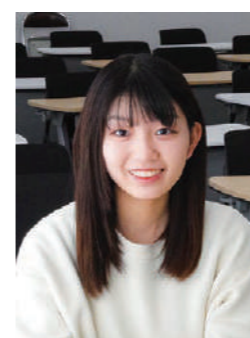


【実験】中和反応を利用して濃度を求める



【実験】最新のラマン分光光度計による計測
【実験】64コアCPUを搭載したPCによるMOFの量子化学計算実習

Voice 学生の声



小俣 貴実花さん
令和3年度入学
日野市立日野第四中学校出身

物質工学科では、有機化学や生物化学などの幅広い分野の化学を、授業や実験を通して学ぶことができます。他学科と比べて卒業研究が早かったり、授業とは別に自分で行う実験が多いため、高い実験技術を習得することができます。授業では座学のほかに、パソコンを使用した授業もあり、様々なことを学べます。初めは化学についての知識があまりなく、大変な時もありましたが、わからなかった化学の問題が解けた時や、実験が成功した時の達成感は特別に感じることができ、とても楽しいです。



齊藤 匡悟さん
令和4年度入学
大和市立南林間中学校出身

物質工学科では、実験実習を通して化学の幅広い分野の基礎を学びます。授業で勉強したことを、実験で自分の目で確かめることができ、より理解を深めることができます。2年生の初めの実験では先生方が一つ一つの手順を丁寧に教えてくれるため、実験の経験が少ない人でも心配ありません。毎週行われる実験に真剣に取り組んでいけば、自分で考えて手を動かす力が自然と身につけていきます。高学年になるにつれて実験の難易度は上がっていきますが、その分うまくいったときはうれしく、自分の成長を実感できます。

Advanced Course

専攻科

専攻科では本科卒業生を対象に2年間の教育を行い、大卒と同じ資格を得ることができます。そのため、専攻科修了後にはより高度な研究を学ぶため、多くの学生が国公立の大学院へ進学しています。本校の専攻科には、機械情報システム工学専攻、電気電子工学専攻、物質工学専攻の3専攻があり、それぞれの専門分野を連続して効率よく学習することができます。特に、研究活動では本科から継続して専念することができ、学生は研究成果を国内外の学会で発表しています。また、持続可能社会やグローバルを重視した教育プログラムに特徴があり、SDGs、環境工学の講義や長期海外研修などを実施し、これからの社会を担う技術者・研究者を育てています。

Voice 学生の声



電気電子工学専攻
加藤 太 さん

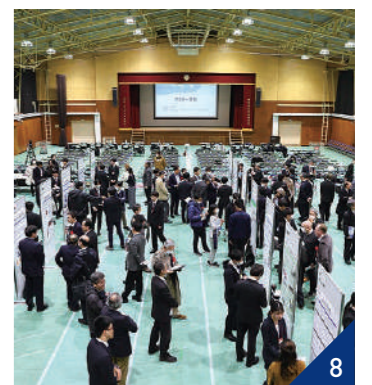
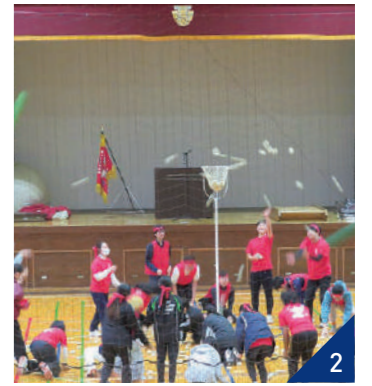
本科5年生で所属した研究室に残り、研究を続けられることに魅力を感じ専攻科に進学しました。特別研究では大学3年生相当という早い段階から学会発表や論文執筆を行っています。カリキュラムも主体的に計画を立てることができるので、文化祭企画の運営や他大学とのプロジェクトなど、本科で培ってきた技術を生かし、自分が中心となって活動を行うことができます。この経験は、本科と運動した専攻科ならではの特徴です。

CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

年間行事

- 4月 入学式 ①
新入生オリエンテーション
学生集会
- 5月 学生総会
体育祭 ②
- 6月 前期中間試験
- 7月 関東信越地区高専体育大会 ③
前期末試験
- 8月 全国高専体育大会
夏季休業(8月~9月)
インターンシップ(4年)
- 9月 ロボコン関東甲信越地区大会
関東信越地区高専文化発表会
研修旅行(3年) ④
ロボコン全国大会 ⑤
- 10月 プログラミングコンテスト本選 ⑥
学生集会
- 11月 くぬぎだ祭(文化祭) ⑦
後期中間試験
- 12月 冬季休業
- 1月 推薦入試
学年末試験
- 2月 学力入試
卒業研究発表会
- 3月 社会実装教育フォーラム ⑧
冬季学校(2年) ⑨
卒業式 ⑩
学年末休業



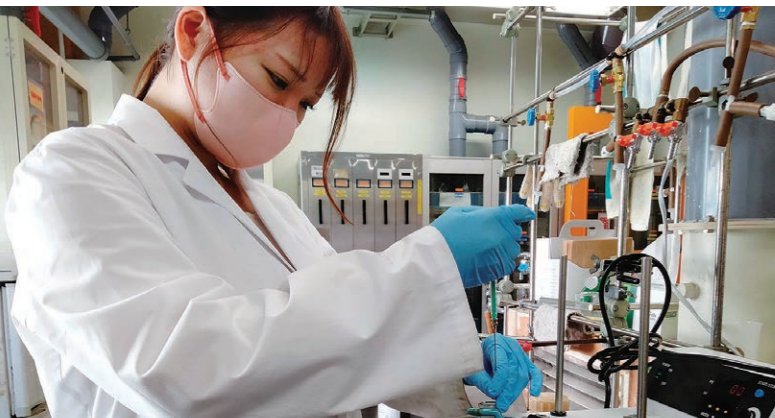
▼「研究室のゼミナール」



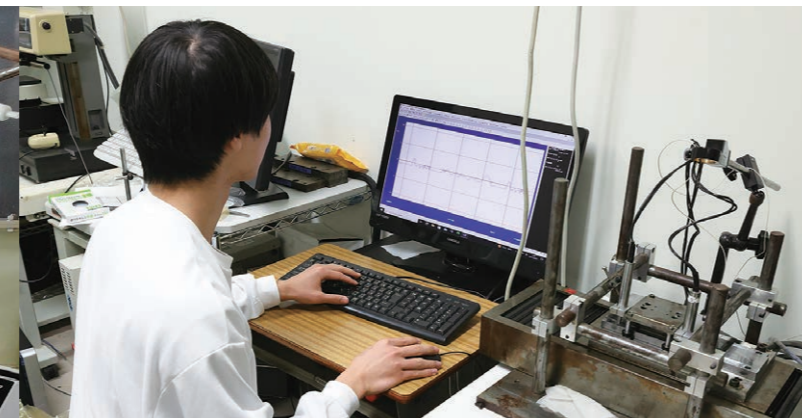
▼「フィンランド メトロポリア応用科学大学にて現地の留学生と国際交流」



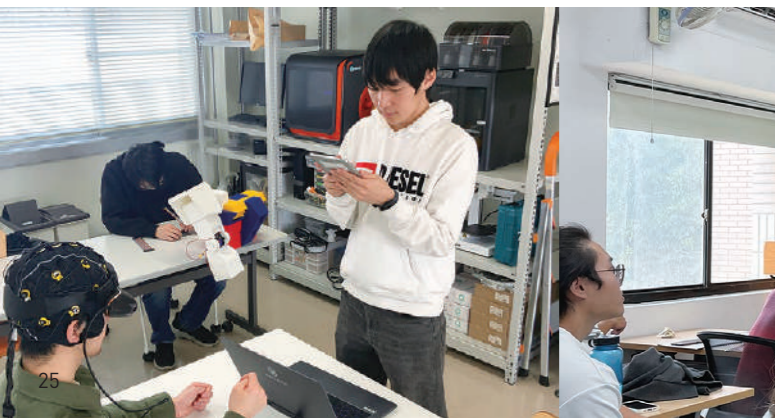
▼「新規物質の合成実験」



▼「スライド面の摩擦特性測定実験」



▼「腕を動かした時の脳波計測」



▼「台湾 国立清華大学での研究交流会にて研究成果をプレゼンテーション」



東京高専生 の1日

A Day in the Life of a Kosen Student

東京高専生の時間割 ～あるクラスの場合～

■ 人文系科目 ■ 自然系科目 ■ 専門科目

時限	授業時間帯
ホームルーム (1年生のみ)	8:40～8:50
1限 2限	8:50～10:20
休憩	10分
3限 4限	10:30～12:00
昼休憩	50分
5限 6限	12:50～14:20
休憩	10分
7限 8限	14:30～16:00
最終下校時刻	20:00

	月	火	水	木	金
1年生のクラス(一例)					
1限	Listening	物理Ⅱ	基礎数学Ⅱ	国語総合Ⅱ	文章表現法Ⅰ
2限					
3限	化学Ⅱ	芸術	ReadingⅡ	基礎数学Ⅱ	ものづくり 基礎工学
4限					
5限	基礎数学Ⅱ 演習	体育Ⅰ	Grammar & WritingⅡ	ホームルーム	
6限					
7限		現代社会論			
8限					

	月	火	水	木	金
4年生のクラス(一例)					
1限	基礎電子工学 ※	機械工学演習Ⅵ	情報通信 ネットワーク※	技術者のための 哲学・倫理	地球・環境・ 省エネルギー
2限					
3限	応用数学	TOEIC English Ⅱ	環境・ エネルギー工学※	機械数学	体育Ⅳ
4限					
5限	機械工学 実験実習Ⅵ	社会実装 プロジェクトⅡ	知能情報工学※	機械材料学	数学総合演習※
6限					
7限			中国語※		
8限					

※ 選択科目

授業 PICK UP ものづくり基礎工学

1年次に開講されている「ものづくり基礎工学」は、5つの専門学科の基礎実験を、1年間かけて幅広く体験的に学習する科目です。1回あたり約4時間の基礎実験を各学科5回ずつ行うので、それぞれの分野の基礎を幅広く学ぶことによって、各学科の違いや特色も知ることができます。本科目で学んだ内容は、2年進級時の学科選択時の判断材料としても、とても役に立ちます。

受講した学生の声

ものづくり基礎工学では、さまざまな実験を通して各学科の基礎に触れ、自分の興味や学科選びの方向性を明確にすることができました。得意分野がなくても、先生や仲間のサポートのもと、手を動かしながら実践的な知識を身につけられ、工学の楽しさや、ものづくりの魅力を実感しました。普段扱えない機械やプログラミングにも挑戦し、チーム作業を通じて問題解決能力を養えたことが、今後の学びに役立つと感じています。

富田 歩叶さん
令和6年度入学
埼玉県横瀬町立横瀬中学校出身



課外活動

Extracurricular Activities

約6割の学生が部・同好会のほか、高専コンテスト系のゼミ等に所属し、各種体育大会、文化祭、文化発表会、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト等に参加する等、活発に活動しています。



体育系部	陸上競技部、水泳部、硬式野球部、サッカー部、ハンドボール部、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、バドミントン部、テニス部、ソフトテニス部、柔道部、剣道部
文化系部	写真部、吹奏楽部、軽音楽部、茶道・華道部、自動車部、科学部、将棋部、ジャグリング部
同好会	ESS同好会、手話同好会、フットサル同好会、器楽・合唱同好会、演劇同好会、ダンス同好会、クライミング同好会、農林同好会、数学同好会、鉄道同好会、調査・研究同好会、美術同好会、ボードゲーム同好会、ものづくり同好会、バーチャルライブ同好会、レクリエーション同好会、デジタルアート同好会
高専コンテスト系ゼミ	ロボコンゼミ、プロコンゼミ、環境ゼミ、ドローン研究ゼミ



将棋部 写真部 バレー部 剣道部



ドローン研究ゼミ バーチャルライブ同好会 プロコンゼミ ロボコンゼミ

令和7年度の主な成績

ロボコンゼミ

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025全国大会 Bチーム「明修羅(アシユラ)」特別賞

プロコンゼミ

第36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト [競技部門]準優勝、DMM.com企業賞 [課題部門]敢闘賞

ドローン研究ゼミ

東京高専は教育機関初の国交省登録無人航空機講習機関です。
国交省無人航空機操縦士(マルチロータ:基本+限定解除(夜間・目視外))
R7年度:二等合格者数21名(累計54名)、一等合格者数1名(累計5名)
国交省無人航空機操縦士・検定審査員(マルチロータ)
R7年度:二等合格者数4名(累計5名)

ハンドボール部

令和7年度関東信越地区高等専門学校体育大会
ハンドボール競技 1位

水泳部

令和7年度関東信越地区高等専門学校体育大会
水泳競技 [男子50m自由形] 3位 [男子400m自由形] 3位
[男子200m平泳ぎ] 1位 [男子100m平泳ぎ] 1位

柔道部

令和7年度全国高等専門学校体育大会
柔道競技 [男子個人無差別級] 準優勝

剣道部

令和7年度関東信越地区高等専門学校体育大会
剣道競技 [女子個人] 1位

将棋部

令和7年度全国高等専門学校将棋大会
[団体戦] 3位 [女子個人] 準優勝

くぬぎだ寮 の紹介

KUNUGIDA DORMITORY



本校の学生寮(くぬぎだ寮)には第1寄宿舎、第2寄宿舎、第3寄宿舎、国際寮の4棟があり、約160名の学生が生活をともにしています。寮の南側には校庭、北側には裏山があり、野鳥も多く生息し、自然豊かで静かな環境で過ごすことができます。

各棟居室には机、椅子、ベッド等が備え付けられています。お風呂、シャワー、トイレ、洗濯機は共有です。また、フロアごとにテレビやソファ、キッチンなどが備え付けられた共有スペースが設けられており、学科や学年を越えた交流ができます。海外からの留学生も寮で生活しています。

くぬぎだ寮は共同生活の場であり、共に生活する仲間への配慮や自律した生活が求められます。そのため、寮には守るべき規則がたくさん定められています。寮生の規律ある生活をサポートするために寮事務室があり、1年生および各学科に寮担当の教員が配置されています。また、夜は教員や外部委託の警備員が交代で舎監業務を行い宿泊するほか、夕方からの一定時間は寮生の生活指導のため寄宿舎指導員も置いています。

なお、夏休みや春休みなどの長期休業期間は閉寮し利用できません。また、感染症などに罹患した場合、他の寮生の安全のため一時帰宅をお願いしています。このような寮を利用できない期間、保護者の方には責任をもって学生を保護していただく必要があります。

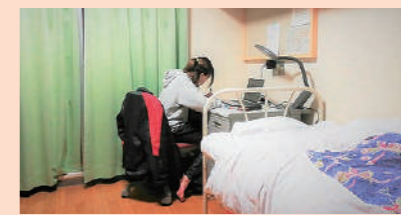


寮生活にかかる費用

(※年度によって変わる場合があります。)

1. 部屋代(施設使用に関わる料金)	月当たり800円(年間9,600円) ※2人部屋の場合は年間8,400円
2. 寮生保護者会費	
・寮費分(光熱費、下水道費用など)	年額約90,000円
・エアコンリース・電気代	年額約38,800円
3. 食事代(寮食堂・1日3食)	年額約500,000円
4. 寮生会費(寮生の自主活動のための費用)	年額 2,500円
	年額約640,000円

寮食メニュー
寮食堂のメニューの一例を紹介します。夕食は、たとえば、肉料理か魚料理の2種類のメニューから好きな方を選ぶことが多いです。



昼食 ビーフカレー



夕食 豚肉と玉子の照煮



夕食 イカと野菜のあっさり炒め

寮生の声 — くぬぎだ寮・寮生活を送ってみて —

寮で生活していてよかったなと思うことは、家から学校に通うまでにかかる時間分を全て自分のやりたいことに割けることです。また、寮では学年やクラス問わずに色々な人と関わることができるため、自分がやりたいことや得意なことをさらに伸ばしたり、知らない別分野の話から自分の可能性を広げたりすることもできます。でもやっぱり寮に入る最大のメリットは、仲のいい友人が近くにいることだと思います。勉強面で互いに助け合うこともできるし、楽しい時間を共有できるので、充実した日々を過ごすことができると思います。

電子工学科 齊藤 玄 さん
令和3年度入学
越谷市立南中学校出身



寮生活は新しい冒険の始まりです!寮に入ることによって、私たちに普通なら出会うことができなかった友達との繋がりを築くことができます。授業後や週末に友達と食事や買い物、勉強ができるのでたくさん一緒に過ごせます。通学の時間を趣味や部活などに充てることができます。私たち自身も勉強に専念し、時間を有効に使うことができたいと思います。また、新入寮生歓迎会ではドッチボールやビンゴ大会、夏レクではBBQや流しそうめんもしました。このようなイベントも寮生活の魅力です。ここでしか味わえないユニークな経験が毎日を特別なものに変えてくれます!

物質工学科 大塩 夏海さん(左)
令和4年度入学
静岡市立東中学校出身
物質工学科 網島 陽子さん(右)
令和4年度入学
綾瀬市立綾瀬中学校出身



国際交流

International Exchange

本校では、海外の大学等の教育機関との交流協定締結による教員や学生の相互交流の実施、外国人留学生や外国人研究者及び外国からの訪問者の受け入れ等、多彩な国際交流を活発に行っています。



海外インターンシップ 台湾、マレーシア、オーストラリア等の企業・大学にインターンシップ生を派遣しています。

留学生の受入



インドネシア、モンゴル、ラオス、ベナン、イラン等、様々な国籍の留学生を受け入れ、7名程度が在籍しています。

令和4年度～令和7年度の東京高専の外国人留学生数

出身国	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
イラン			1(1)	1(1)
インドネシア	2	3	2	1
韓国	1	1		
ブラジル	1			
ベトナム	1			
ベナン		1	1	1
マレーシア	1			1
モンゴル	1(1)	1(1)	1(1)	1
ラオス		1	1	1
タイ				1
中国				1
合計	7(1)	7(1)	6(2)	8(1)

()女子留学生

海外派遣プログラム

本科生を対象にして、民間の国際教育交流団体の年間派遣プログラムを積極的に紹介しています。また、隔年でオーストラリア学生交流派遣を実施し、参加者はホームステイや現地校訪問を通じて異文化理解を深めます。



現地高校との交流



オーストラリア学生交流派遣

フィンランドのMUASとの交流



本校では平成12年以来、フィンランドのMetropolia University of Applied Sciences(MUAS)と学術交流を行っています。本校の学生はMUASで約5ヶ月間、MUASの学生は本校で約6ヶ月間の研修を行います。

海外留学・研修プログラム実績

「トビタテ!留学JAPAN」プログラム(文部科学省)、AFSやYFUの年間派遣プログラム(国際教育交流団体)、短期海外研修プログラム(高専機構、東京高専)等を通じて学生を海外に派遣しています*。

留学先国名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
アメリカ	2	4	3	3
イギリス		1		
イタリア	2			
インド			1	1
オーストラリア	2	62**		38**
カナダ		1		1
韓国		4	1	
シンガポール			1	
タイ	1	1	1	4
台湾		3	5	10
タンザニア			1	
ドイツ		1		
ニュージーランド			1	
ベトナム				4
フィリピン	1		3	5
フィンランド		3	3	4
フランス			2	
マルタ			1	
マレーシア		1	9	1
ベルギー	1			
香港		2		
小計	9	83	32	71

*1か月未満の短期プログラム・研修・国際学会参加等を含む
**本校主催オーストラリア学生交流派遣(約1週間)に参加した学生数(本プログラムは隔年実施)

東京高専Q&A

Q 高専の入学試験問題は難しいのですか。

A 全国の国立高専の入学試験は、統一試験です。試験問題は、中学校学習指導要領に基づいて作られており、基礎学力・思考力を重視したもので、中学校で学ぶ学習内容を理解すれば十分に解ける問題です。

Q 過去問はどこで見られますか。

A 過去の入試問題は、下記の「国立高等専門学校機構」ホームページから入手可能です。また、「声の教育社」、「東京学参」等の出版社からも販売されています。

国立高等専門学校機構ホームページ https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/kosen_navi.html



Q 女子学生は何人くらいいますか。

A 近年は200名前後(学生全体の約20%)で推移しています。

Q どの地域から通学している学生が多いですか。

A 通学生の分布は、八王子市が一番多く、次いで相模原市、横浜市、日野市、府中市、多摩市、調布市など、JR中央線・横浜線や京王線沿線地域が多くなっています。また、東京23区、神奈川県、埼玉県、山梨県などの広い範囲から通学している学生もいます。

Q 近くに高専がありません。遠い場所からでも東京高専は受験できますか。

A 東京高専には学生寮(定員202名:男子160名、女子42名)があり、一定の条件を満たせば入寮できます。寮では、先輩寮生の学習支援があり、勉強をする環境も整っています。なお、部屋代や食事代等で年間約64万円の経費が必要です。

Q 卒業後の進路を教えてください。

A 就職と進学は割合は、学年のおおよそ半々くらいです。就職先は日本全国に支社のある大手企業から地域密着型の地元企業まで多種多様です。毎年、1,700社近くの企業から求人依頼があり、求人倍率は20倍程度となります。進学は、国立大学を中心に多くの学生が編入学をしています。また、本校専攻科には毎年20名程度が進学しています。

学費について ※令和6年度実績

毎年度に必要な経費
(就学支援金が支給されない場合)

約**26万6千円**

内訳	授業料	234,600円	学生会費	6,000円
	後援会費	24,200円	日本スポーツ振興センター掛金	1,550円

入学時にはこの他に入学料84,600円、後援会入会費11,000円、学生会入会金3,000円が必要になります。教科書・教材費は学年によりますが年間5~6万円程度です。

学費支援制度について

高等専門学校での学費支援制度としては、主に以下の3つがあります。

①高等学校等就学支援金

1~3年生は、公立高校や私立高校と同様に高等学校等就学支援金制度の対象となります。この制度は、家計状況に応じて国から支援を受けることができる制度で、支給額は授業料と相殺され、最大で授業料全額に相当する額が支給される場合があります(返済の義務はありません)。

②高等教育の修学支援制度

4年生以上を対象として、家計状況に応じて授業料の減免及び給付奨学金を受けることが可能で、最大で授業料全額が免除される制度です。成績や家計状況などの条件を満たした学生が対象となります。

③奨学金

高専では、日本学生支援機構をはじめ、各種奨学金の募集があります。多くは返済の義務がある奨学金となりますが、中には返済不要の奨学金もあります。詳しくは学生課までお問い合わせください。

各種データ

学生数

令和8年4月1日現在 ()内は女子数

各学科定員及び現員

学科	学年定員	1年	2年	3年	4年	5年	現員合計
機械工学科	40	44 (9)	44 (9)	50 (10)	38 (4)	45 (9)	221 (41)
電気工学科	40	43 (9)	45 (9)	42 (11)	44 (9)	38 (7)	212 (45)
電子工学科	40	44 (10)	32 (7)	42 (5)	26 (6)	28 (9)	172 (37)
情報工学科	40	44 (10)	43 (8)	45 (9)	45 (7)	43 (7)	220 (41)
物質工学科	40	43 (8)	46 (12)	43 (18)	42 (13)	37 (16)	211 (67)
合計	200	218 (46)	210 (45)	222 (53)	195 (39)	191 (48)	1,036 (231)

専攻科定員及び現員

専攻	学年定員	1年	2年	現員合計
機械情報システム工学	8	8 (2)	5 (1)	13 (3)
電気電子工学	8	9 (3)	10 (0)	19 (3)
物質工学	4	4 (1)	5 (0)	9 (1)
合計	20	21 (6)	20 (1)	41 (7)

本科入学生の出身(出身学校所在地)別学生数(編入学転入学含む)

出身地	東京都	神奈川県	埼玉県	山梨県	千葉県	その他道府県	海外	外国人留学生	合計
人数	100	60	26	3	5	17	2	3	216
割合	46.3%	27.8%	12.0%	1.4%	2.3%	7.9%	0.9%	1.4%	—

本科入学志願者倍率

学科	年度	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025	令和8年度 2026
機械工学科		1.3	1.8	1.8	2.4	1.8
電気工学科		1.0	1.1	1.9	1.1	1.2
電子工学科		1.0	1.5	1.6	1.7	1.3
情報工学科		3.3	2.8	3.1	3.2	2.6
物質工学科		1.6	1.8	1.6	1.8	1.4
平均		1.6	1.8	2.0	2.0	1.7

卒業後の進路

令和8年4月1日現在

令和7年度(令和8年3月卒業)本科進路状況

学科	項目	卒業者数 ※休学者は含まない			就職						進学者数			その他					
		計	男	女	就職希望者数			就職者数			計	男	女	計	男	女			
					計	男	女	計	男	女									
機械工学科		32	27	5	14	12	2	14	12	2	1,763	839	59.9	17	14	3	1	1	0
電気工学科		39	31	8	25	19	6	25	19	6		864	34.6	14	12	2	0	0	0
電子工学科		27	22	5	19	15	4	19	15	4		834	43.9	8	7	1	0	0	0
情報工学科		38	31	7	28	23	5	28	23	5		781	27.9	10	8	2	0	0	0
物質工学科		40	27	13	18	12	6	18	12	6		584	32.4	21	15	6	1	0	1
合計		176	138	38	104	81	23	104	81	23	1,763	3,902	37.5	70	56	14	2	1	1

※1 求人数は高専キャリアサポートシステムより抽出したもの。
※2 休学者は含まない。

令和7年度(令和8年3月卒業)専攻科進路状況

専攻	項目	修了者数 ※休学者は含まない			就職						進学者数			その他					
		計	男	女	就職希望者数			就職者数			計	男	女	計	男	女			
					計	男	女	計	男	女									
機械情報システム工学		8	8	0	6	6	0	6	6	0	1,607	1,095	182.5	1	1	0	1	1	0
電気電子工学		9	8	1	2	2	0	2	2	0		1,088	544.0	7	6	1	0	0	0
物質工学		4	2	2	0	0	0	0	0	0		890	—	4	2	2	0	0	0
合計		21	18	3	8	8	0	8	8	0		1,607	3,073	384.1	12	9	3	1	1

令和7年度 本科就職先一覧

【機械工学科】

- 東海旅客鉄道株式会社
- マイクロテック・ラボラトリー株式会社
- ユニバーサルスタジオ
- 本田技研工業株式会社
- ワイズトレーディング株式会社
- シチズン時計マニュファクチャリング
- 大日精工工業株式会社
- 株式会社 プレジール
- 東京都
- 東京エレクトロン株式会社
- 株式会社 浜野製作所
- 株式会社 プリモ
- 富士フィルムビジネスソリューションズジャパン
- 日本郵政建築株式会社

【電気工学科】

- NEC ネットズエスアイ
- キヤノンアネルバ株式会社
- 株式会社 Olivier
- アズビル株式会社
- 株式会社 ニコン
- 株式会社 関電工
- 京セラドキュメントソリューションズジャパン
- 三菱電機プラントエンジニアリング株式会社
- GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- 東海旅客鉄道株式会社
- 日産自動車株式会社
- リニューアブル・ジャパン株式会社
- 株式会社 ウィザード
- 株式会社 タマディック
- 富士電機株式会社
- パナソニックコネクタ株式会社
- 横河ソリューションサービス株式会社
- コスモリサーチ株式会社
- 株式会社 LIXIL
- 中部電力株式会社
- 株式会社 ディスコ
- 株式会社 日立ハイテクフィールディング
- 株式会社 タカラトミー

【電子工学科】

- 東京エレクトロン株式会社
- 株式会社 網屋
- パナソニックITS株式会社
- 独立行政法人 国立印刷局
- 日本空港テクノ株式会社
- Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社
- アステック株式会社
- 富士電機株式会社
- インフォコムテクノロジーズ
- 新電元工業株式会社
- 富士フィルムビジネスエキスパート株式会社
- 三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジーズ株式会社
- GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- 新協電子株式会社
- 東京水道株式会社
- 日本航空電子工業株式会社
- 東京都下水道サービス株式会社
- 株式会社 アベックス

【情報工学科】

- 株式会社 オプティム
- パナソニック株式会社
- 株式会社 デンソー
- 東京エレクトロン株式会社
- アズビル株式会社
- エアロトヨタ株式会社
- 住友金属鉱山株式会社 青梅事業所
- 株式会社 エヌ・ティ・ティ・エムイー
- 株式会社 アイスタイル
- エヌ・ティ・ティ・データ・ソフィア株式会社
- 森ビル株式会社
- Rapidus株式会社
- エクシオ・デジタルソリューションズ
- 株式会社 ドコモCS
- 株式会社 豊田中央研究所
- 株式会社 FIXER
- 三菱電機エンジニアリング株式会社
- 日本アルゴリズム株式会社
- フジアルテ株式会社
- CTCテクノロジーズ株式会社
- 株式会社 トヨタシステムズ
- アイ・システム株式会社
- 株式会社 アルプス技研
- 新協電子株式会社
- 日本国土開発株式会社
- 株式会社 ジェブ

【物質工学科】

- 住友金属鉱山株式会社 青梅事業所
- 株式会社 INPEX
- 日鉄マイクロメタル株式会社
- DIC株式会社
- 第一三共株式会社
- ニプロ株式会社
- 石福金属興行株式会社
- 株式会社 エヌ・ティ・ティ・エムイー
- 株式会社 網屋
- 株式会社 レゾナック
- 株式会社 FIT PLACE
- サントリホールディングス株式会社
- アヅマ株式会社
- スリーポンドファインケミカル株式会社
- 株式会社 エヌ・ティ・ティ・エムイー
- ダイキン工業株式会社
- 株式会社 日立ハイテク

令和7年度 本科進学先一覧

【国公立】

- 東京工業高等専門学校専攻科
- 富山工業高等専門学校専攻科
- 長岡技術科学大学
- 豊橋技術科学大学
- 北海道大学
- 室蘭工業大学
- 東北大学
- 信州大学
- 宇都宮大学
- 金沢大学
- 千葉大学
- 山梨大学
- 横浜国立大学
- お茶の水女子大学
- 東京都立大学
- 東京農工大学

【私立】

- 工学院大学
- 山口大学
- 神戸大学
- 九州工業大学
- 関西大学

令和7年度 専攻科就職先一覧

- 株式会社 バンダイ
- 株式会社 日産オートモーティブテクノロジー
- 日本精工株式会社
- 神楽坂アプリケーション総研株式会社
- 三菱電機エンジニアリング株式会社
- ソフトバンク株式会社
- TOWA株式会社
- 日東電工株式会社

令和7年度 専攻科進学先一覧

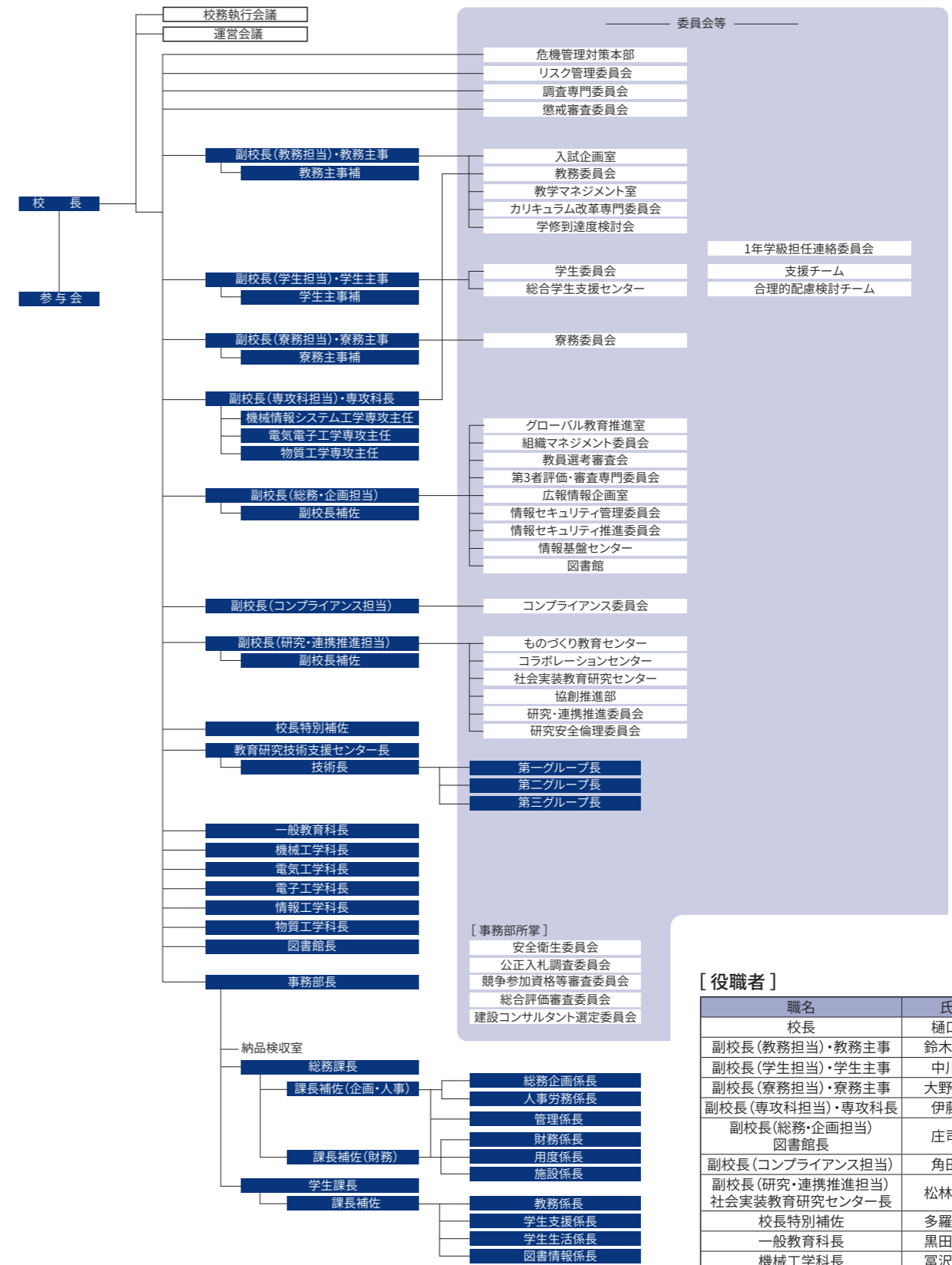
- 長岡技術科学大学大学院
- 豊橋技術科学大学大学院
- 早稲田大学大学院
- 東京大学大学院
- 東京科学大学大学院
- 東京科学大学大学院
- 横濱国立大学大学院
- 秋田県立大学大学院



本校の沿革

昭和	40年	4月	本校設置 機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科で発足
	41年	3月	第1棟、第2棟（一般講義棟）、第1寄宿舍、寮食堂等竣工
		12月	第2棟（工業化学科棟）、第1体育館、実習工場、第2寄宿舍の一部竣工
	42年	11月	第3棟（機械・電気工学科棟）、第2寄宿舍竣工
	43年	4月	事務部制が敷かれ庶務課、会計課設置
	44年	4月	学生課設置
		12月	水泳プール竣工
	45年	4月	電子工学科設置
	46年	3月	第3棟（電子工学科棟）、第3寄宿舍、学生食堂竣工
	49年	2月	第4棟（図書館・電子計算機室棟）竣工
	54年	1月	合宿研修所竣工
		4月	入学主幹設置
	56年	3月	第5棟（講義棟）竣工
	57年	3月	第6棟ソフトエネルギー教育研究施設竣工
		5月	第2体育館竣工
	58年	3月	くぬぎだ会館竣工
		4月	外国人留学生受け入れ開始
	59年	7月	大韓民国専門大学研修生受け入れ開始
		10月	日豪学生交流開始
	60年	4月	外国人受託研修員受け入れ開始
	63年	4月	情報工学科設置
平成	2年	3月	第7棟（情報工学科棟）竣工
		10月	創立25周年記念式典挙行
	3年	4月	ソフトエネルギー教育研究施設を科学技術研究センターに改組
	5年	4月	工業化学科を物質工学科に改組
	6年	6月	水泳プール改築及び附属家竣工
	7年	2月	第2棟（物質工学科棟）竣工
	8年	3月	第4棟（図書館）改修
	12年	3月	第2寄宿舍、寮食堂改修
		5月	フィンランド学生交流開始
	13年	7月	第3寄宿舍改修
	14年	4月	情報・メディア教育センター設置
	15年	4月	専攻科設置
	16年	4月	独立行政法人へ移行
	17年	3月	第8棟（専攻科・総合教育棟）竣工
	18年	1月	独立行政法人国立高等専門学校機構環境報告書作成のモデル校に指定
		3月	第1寄宿舍改修
		4月	「創成型工学教育プログラム：工学（融合複合・新領域）関連分野」JABEE 認定開始
	19年	4月	事務部の改組－2課体制（総務課・学生課）
	20年	3月	物質工学科棟等改修その他工事竣工
		4月	技術室を教育研究技術支援センターに改組
	21年	3月	機械・電気・電子工学科棟改修その他工事竣工
		4月	地域連携テクノセンター、情報・メディア教育センター、実習工場を産業技術センター、IT教育センター、ものづくり教育センターに改組し、上部組織として総合教育支援センターを設置
	22年	2月	第1体育館改修その他工事竣工
		4月	第1棟（管理棟）改修その他工事竣工
	24年	2月	第5棟講義棟演習室等改修工事竣工
	25年	3月	ものづくり教育センター改修その他工事竣工
	26年	3月	産業技術センター改修工事（一期）竣工
	27年	10月	創立50周年記念式典挙行
	30年	5月	第8棟（コラボレーション・commons）竣工
令和	3年	12月	国際寮竣工
	4年	8月	数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）に認定（文部科学省）
		10月	社会実装教育研究センター設置
	5年	3月	同センターが「国立高等専門学校機構教育研究等拠点（総合型）」として認定
	6年	3月	第7棟（情報工学科棟）改修工事竣工
		3月	第1寄宿舍改築工事竣工
		4月	総合教育支援センターを教育支援・産学連携センターへ名称変更
	7年	4月	教育支援・産学連携センターの改組により、IT教育センターを独立させ、情報基盤センターとして設置
	8年	3月	くぬぎだ会館改修工事竣工

組織図 (令和8年4月1日時点)



【教員年齢構成表】

	教授	准教授	講師	助教	嘱託教授	嘱託准教授	合計
61歳以上	2				6	1	9(0)
56～60歳	6	1	1				8(0)
51～55歳	12(1)	3(1)	1(1)				16(3)
46～50歳	6	6(1)		1(1)			13(2)
41～45歳		9(1)	2				11(1)
36～40歳		3(1)	4(2)	2(1)			9(4)
31～35歳			3(2)	4(1)			7(3)
30歳以下				3			3(0)
合計	26(1)	22(4)	11(5)	10(3)	6	1	76(13)

・校長除く ・()は女性教員内数

【役職者】

職名	氏名
校長	樋口 聡
副校長(教務担当)・教務主事	鈴木 雅人
副校長(学生担当)・学生主事	中川 修
副校長(寮務担当)・寮務主事	大野 秀樹
副校長(専攻科担当)・専攻科長	伊藤 浩
副校長(総務・企画担当)	庄司 良
副校長(コンプライアンス担当)	角田 陽
副校長(研究・連携推進担当)	松林 勝志
社会実装教育研究センター長	多羅尾 進
校長特別補佐	黒田 一寿
一般教育科長	黒田 一寿
機械工学科長	富沢 哲雄
電気工学科長	木村 知彦
電子工学科長	一戸 隆久
情報工学科長	北越 大輔
物質工学科長	伊藤 篤子
総合学生支援センター長	永井 翠
教育研究技術支援センター長	藤野 宏
情報基盤センター長	姜 玄浩
協創推進部長	山下 晃弘
グローバル教育推進室長	櫻村 真由
事務部長	山本 有香
総務課長	森田 智士
学生課長	滝崎 亮子

東京工業高等専門学校における3つの教育方針 (アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー)

準学士課程

◆ディプロマ・ポリシー(卒業の認定に関する方針)

本校では、以下に示す能力を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

- (1) 技術と地球環境保全との関係を理解し、危機管理・安全確保に関する倫理観と的確な行動規範
- (2) 日本語及び英語によるコミュニケーション能力と国際的に活躍しうる素養
- (3) 自然科学系の一般科目で培われた基礎学力の上に築かれた専門的知識と実践力、科学技術の分野横断的な視点に立った創造力と研究開発能力
各学科において身につける専門的知識と実践力を以下に示します。

機械工学科	機械工学の基礎の上に、力学、設計・生産技術、知能・システム制御
電気工学科	電気工学の基礎の上に、情報・通信、電子物性・デバイス、エネルギー・制御
電子工学科	電子工学の基礎の上に、半導体、AI、計測・データ解析
情報工学科	情報工学の基礎の上に、ソフトウェア、ハードウェア、情報コミュニケーション、情報科学・応用
物質工学科	物質工学の基礎の上に、物質科学(無機・有機・高分子)、化学プロセス(分析・物理化学・化学工学)、生物・環境

- (4) 生涯にわたる自己啓発能力や健康管理能力及び社会の変化に的確に対応できる柔軟性

◆カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成および実施に関する方針)

本校では、「ディプロマ・ポリシー」に定めた四つの能力を学修するため、次のような編成方針、実施方針及び成績評価基準に基づいて教育を実施します。

◆編成方針

「ディプロマ・ポリシー」に定めた四つの能力を学修するため、一般科目と専門科目を配置し、以下のように5年一貫の体系的な教育課程を編成します。

- (1) 技術と地球環境保全との関係を理解し、危機管理・安全確保に関する倫理観と的確な行動規範を学修するため、人文・社会科学や地学・生物学の一般科目、各分野のこれに関わる専門科目などの学修を体系的に編成します。
- (2) 日本語及び英語によるコミュニケーション能力と国際的に活躍しうる素養を育成するため、グループワーク、発表及び討論を取り入れた国語、外国語、社会、さらには保健体育に関わる一般科目を主とした学修を総合的に編成します。
- (3) 自然科学系の一般科目で培われた基礎学力の上に築かれる専門的知識と実践力、科学技術の分野横断的な視点に立った創造力と研究開発能力を学修するため、以下に示す各学科における教育課程の編成及び実施に関する方針に基づき、核となる専門分野ならびに融合・複合分野の専門科目などと、ものづくりマインドを養う実験・実習・演習科目及び卒業研究とを組み合わせた学修を体系的に編成します。

機械工学科	機械工学の基礎の上に、力学、設計・生産技術、知能・システム制御の専門的知識と実践力を有し、科学技術の分野横断的な視点に立った創造力、研究開発能力を学修する。
電気工学科	電気工学の基礎の上に、情報・通信、電子物性・デバイス、エネルギー・制御の専門的知識と実践力を有し、科学技術の分野横断的な視点に立った創造力、研究開発能力を学修する。
電子工学科	電子工学の基礎の上に、半導体、AI、計測・データ解析の専門的知識と実践力を有し、科学技術の分野横断的な視点に立った創造力、研究開発能力を学修する。
情報工学科	情報工学の基礎の上に、ソフトウェア、ハードウェア、情報コミュニケーション、情報科学・応用の専門的知識と実践力を有し、科学技術の分野横断的な視点に立った創造力、研究開発能力を学修する。
物質工学科	物質工学の基礎の上に、物質科学(無機・有機・高分子)、化学プロセス(分析・物理化学・化学工学)、生物・環境の専門的知識と実践力を有し、科学技術の分野横断的な視点に立った創造力、研究開発能力を学修する。

- (4) 主体的に学び、生涯にわたる自己啓発能力や健康管理能力及び社会の変化に的確に対応できる柔軟性を育成するため、人文・社会科学や保健体育の一般科目、プロジェクト学習型の専門科目などの学修を体系的に編成します。

◆実施方針

「ディプロマ・ポリシー」に定めた四つの能力を学修するため、1年次より体験重視により専門分野の基礎を身につけるようにするとともに、学年に応じて幅広い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するように、体系的な教育課程を学修できるようにします。

- (1) ディプロマ・ポリシー」に定めた能力が、教育課程の中でどのように養成されるか把握できるよう、科目毎にシラバスによって、各科目との対応と、それらを修得する方法を学生が理解しやすいように説明します。また、これらを可視化したカリキュラムマップによって、学生の理解が深まるようにします。
- (2) 個々の学生の活発な主体的学習を促進するため、授業時間のみならず、予習・復習等、授業時間外の様々な機会を通じ、諸課題に積極的に挑戦できるようにします。さらに応用編として、高学年では、社会実装プロジェクト系科目※1に取り組み、主体的に動き、対話・思考・試行・試作・実装して問題解決する一連を学びます。
- (3) 成績評価は、公正かつ透明性確保のため、各科目に掲げられた授業の到達目標に対する達成度を目安として採点し、評価の客観性を担保するため、複次的・複層的な積み上げによる成績評価を行います。
※1 社会実装プロジェクト系の専門科目は、学生が社会の現実の問題と向き合いながら、
 1. 非専門家であるユーザーの生の声を工学的な表現や具体的な技術に変換する高度なコミュニケーション能力
 2. ユーザーの複雑な要求に基づきながら制作物の改良に取り組む主体性と創造性を学修する科目です。イノベーション創出には、自らの工学的専門知識を活用し、「何を創りだすか」を考え、実際に社会で行動できる能力を持つ技術者が必要と考えられます。

◆成績評価基準

「ディプロマ・ポリシー」に定めた四つの能力の学修のため、体系的に一般科目ならびに専門科目が配置されています。科目の特性に応じて、試験、レポート及び成果物等により、科目毎の到達目標の達成度を客観的に評価し、その積み重ねにより「ディプロマ・ポリシー」に定めた各能力の修得度を総合的に評価します。本校では、次のような成績評価基準を定めています。

- (1) 学期末における成績評価は、シラバスに示す評価方法に基づいて実施します。
- (2) 学期の中間時点における成績評価もシラバスに示す評価方法に準じて実施します。
- (3) 最終的な科目の成績は100点法により採点し、評価は以下のS・A・B・C・Dの5段階とし、成績評語は評価に応じて次のとおりとします。ただし、卒業研究および社会実装プロジェクトについては「合」又は「否」を、インターンシップについては、「修了」又は「未修」を判定します。

S(優)	特に優れている	(100～95点)
A(優)	優れている	(94～80点)
B(良)	普通である	(79～70点)
C(可)	やや劣る	(69～60点)
D(不可)	劣る	(59～0点)

◆アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

本校では、ものづくり、基礎学力、技術者としての倫理観、コミュニケーション能力、グループ活動を大切に考えることを基本としたエンジニアを育てることを目標に、次のような入学者を求めます。

- (1) 理数系科目が好きであり、それらの科目の成績が優秀である。
- (2) 科学や技術の分野で新しいことを学びたいという学習意欲がある。
- (3) 英語でのコミュニケーション能力習得に熱意がある。
- (4) ものづくりに興味があり、新しいものを作りたいと考えている。
- (5) 仲間とともにグループで作業ができる。
- (6) 自覚的な行動ができる。
- (7) 規則正しい生活と、毎日の自発的学習ができる。

◆入学者選抜の基本方針

- (1) **推薦による入学者選抜**
出身中学校長から推薦された志願者のうち、一定水準以上の数学・理科の学力を身につけ、かつ自発的・継続的な学習能力を有する本校への入学意欲が強い志願者を受け入れる。
- (2) **学力による入学者選抜**
準学士課程における学習に必要な基礎学力をもつ志願者を数学の学力を重視した学力検査により選抜する。
- (3) **編入学者の選抜**
編入学を志望する学科(学年)の学習に必要な学力、意欲及び適性のある志願者を学力検査及び面接により選抜する。

専攻科課程

◆ディプロマ・ポリシー(修了の認定に関する方針)

本専攻科は、工学およびその融合領域において、学生が自ら考え行動する力と科学技術を社会に実装する力を育む教育研究活動を通して、環境保全への高い意識と社会的倫理観を持ち、異文化を理解する力とコミュニケーション力を兼ね備え、総合的視野に立って実社会に役立つ価値を創出できるグローバル技術者の育成を目指しています。

本専攻科では、以下に示す能力を身につけ、学則で定める修業年限以上在学し、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定します。

- (1) 持続可能な社会の実現に向けて、技術者に求められる倫理観と行動規範を理解し、生涯にわたって自己啓発・管理できる能力
- (2) 持続可能な社会の実現に向けて、科学技術が環境に与える影響を常に意識し、自ら修得した専門知識および技術を複合・融合的に活用して社会に実装する能力
- (3) 基礎的な知識および実験スキルに加えて、創造力、企画力に富み、PDCAサイクルをまわして研究開発を推進できる能力
- (4) 異なる文化や社会を理解する柔軟性を持ち、言語の異なる他者とも協力して問題解決に邁進できる能力

◆カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成および実施に関する方針)

本専攻科では、ディプロマ・ポリシーに定めた能力を育成するために、専攻科1年の後期にPBL等の主体的活動を行うための科目を配置し、社会実装活動、長期インターンシップ(共同研究型、海外研修型)、ならびに創造的な研究活動の3つの活動を学生が自ら組み合わせ、自身に最適化した活動を行うことにより主体的に考え協動的に行動する能力を高められるようにします。また、この活動の前に学ぶべき科目を専攻科1年の前期に配置し、活動後に学ぶ方がより効果的な科目を専攻科2年に配置して、環境保全への高い意識と社会的倫理観を持ち、異文化を理解する力とコミュニケーション力を兼ね備え、総合的視野に立って実社会に役立つ価値を創出できるグローバル技術者の育成を行います。具体的には、次のような編成方針、実施方針および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

◆編成方針

専攻科1年後期のPBL等の主体的活動および特別研究を重視し、本科の科目と連携した科目や、リベラルアーツ科目を効果的に配置した教育課程を編成します。

- (1) 持続可能な社会の実現に向けて、技術者に求められる倫理観と行動規範を理解し、生涯にわたって自己啓発・管理できる能力を涵養するための科目として、専攻科1年の前期に、持続可能な社会の実現に向けての目標を学ぶ科目を配置し、持続可能な社会において技術者の求められる倫理観や行動規範を学生自らが考える科目を専攻科2年の後期に配置します。
- (2) 持続可能な社会の実現に向けて、科学技術が環境に与える影響を常に意識し、修得した専門知識および技術を自ら複合・融合的に活用して社会に実装する能力を涵養するために、専攻科1年の後期にPBL等の主体的活動を行うための科目を配置し、この期間の活動をした後に、持続可能な社会の実現に向けて技術者としてどのように取り組むべきかを地球環境的な側面から考える科目を専攻科2年の前期に配置します。
- (3) 基礎的な知識および実験スキルに加えて、創造力、企画力を身につけ、PDCAサイクルをまわして研究開発を推進できる能力を涵養するために、理科系の専門共通科目や各専攻の専門科目に加えて、東京科学大学大学院教員によるオムニバス形式の「先端理工学研究特論Ⅰ・Ⅱ」を専攻科1年の前期に配置し、最先端の研究の解説、研究のデザインの手法、研究における試行錯誤、ブレイクスルー、研究をする上での心構えや考え方、研究者になるまでのキャリアデザイン等を学べるようにします。また、専攻科1年後期の主体的活動の経験を専攻科2年の特別研究で活かせるようにするとともに、経営や起業について考えることにより総合的な創造力や企画力を涵養することを目的とした科目を専攻科2年の後期に配置します。
- (4) 異なる文化や社会を理解する柔軟性を持ち、言語の異なる他者とも協力して問題解決に邁進できる能力を涵養するために、文化の異なる海外での活動経験を持つ教員が担当する科目と、実践的英語科目を専攻科1年の前期に配置し、専攻科1年の後期における海外での活動にも対応できるようにします。

◆実施方針

- (1) 個々の学生に最適な学びを提供するために、専攻科1年の後期をPBL等の主体的活動の期間とします。この期間には集中講義科目である「インテンシブキャリアデザイン」と、実験科目である「イノベティブリサーチプロジェクト」を配置し、学生は、まず「インテンシブキャリアデザイン」の前半で、社会実装、国内外における長期インターンシップ(共同研究型、海外研修型)、創造的な研究、という3つの活動の組み合わせ方について、提示された取り組みモデルを参考にして学び、専攻横断的に配置されたメンター教員グループの支援を受けながら、自身の個性や関心に応じて「イノベティブリサーチプロジェクト」の実施計画書を作成します。次にこの実施計画書に従って活動を行い、「インテンシブキャリアデザイン」の後半で実施される発表会で幅広く講評を受け、活動の振り返りを行います。
- (2) ディプロマ・ポリシーに定めた能力が、教育課程の中でどのように養成されるかを具体的に示すために、各科目のシラバスにディプロマ・ポリシーのどの項目が当該科目で達成されるのかを明記し、それらを修得する方法についても学生が理解しやすいように記述します。また、持続可能な社会の実現に向けて活動する能力が教育課程の中でどのように養成されるかを具体的に示すために、各科目のシラバスにSDGsの17の目標のうちどの目標が当該科目で達成されるのかを明記し、それらを修得する方法についても学生が理解しやすいように記述します。
- (3) 成績評価は、公正かつ透明性を確保するため、各科目のシラバスに掲げられた授業の到達目標に対する達成度にしたがって採点し、評価の客観性を担保するため、科目の特性に応じて、試験、レポート、成果物、およびプレゼンテーション等により成績評価を行います。

◆成績評価基準

本校では、次のような成績評価基準を定めています。科目の特性に応じて、試験、レポート、成果物、およびプレゼンテーション等により、それぞれ身につけるべき能力の修得度を客観的に評価します。

成績はシラバスに示す評価方法に基づき100点法により採点し、成績評価は以下の優・良・可・不可の4段階とします。ただし、「特別研究」、「インテンシブキャリアデザイン」および「イノベティブリサーチプロジェクト」にあっては「合」又は「否」を判定します。

優	優れた成績	(100～80点)
良	良好な成績	(79～70点)
可	合格と認められる成績	(69～60点)
不可	合格と認められない成績	(59～0点)

◆アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)

本専攻科では、学習・教育目標の国際化・複合化に対応できる技術者を育成することを目標に、次のような入学者を求めます。

- (1) 工学の基礎を修得し、実践力、創造力、研究開発力の素養を有している人
- (2) さまざまな課題に主体的に取り組む意欲のある人
- (3) 自己表現や他者理解などを積極的に図ることができる人

◆入学者選抜の基本方針

- (1) **推薦による選抜**
出身高等専門学校長から推薦された志願者のうち、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意欲が強い志願者を選抜する。
- (2) **学力による選抜**
一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有する志願者を選抜する。
- (3) **社会人特別入試**
企業などにおいて一定以上の在職期間を有し、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意欲が強い志願者を選抜する。

教員一覧

一般教育科

職位	氏名	学位/称号	専門分野	主な担当
教授	青野 順也	博士(文学)	日本語学	国語総合、文章表現法、文章表現論
教授	大野 秀樹	博士(物理学)	表面物理学、薄膜形成	物理、現代物理実験学、環境物理学
教授	黒田 一寿	修士(教育学)	体育学	体育、健康と福祉
教授	Gates, John Wade	博士(工学)	画像処理	Oral Communication、Science English
教授	安富 義泰	博士(数理学)	偏微分方程式論	解析、線形代数、確率統計
教授	横溝 仁	修士(文学)	アメリカ文学・文化	Reading、TOEIC English
准教授	井口 雄紀	博士(理学)	解析学	解析、線形代数、確率統計
准教授	櫻村 真由	博士(学術)	英語教育学、イギリス文学	Listening、Reading、Grammar & Writing
准教授	小林 礼実	Master of Arts、修士(文学)	言語学、倫理学	Grammar & Writing、Science English
准教授	長橋 雅俊	博士(言語学)	応用言語学、英語教育	Reading、TOEIC English、Technical Writing
准教授	波止 元仁	博士(理学)	力学系理論	解析、線形代数、確率統計
准教授	藤井 俊介	博士(理学)	初期宇宙論、一般相対論	物理、現代物理学入門
准教授	向山 大地	修士(文学)	アメリカ文学	Grammar & Writing、Science English、English Skills for the Workplace
講師	小山 桂佑	修士(学術)	科学史、技術史	社会と文化から見る歴史、SDGs概論
講師	廣池 桜子	修士(英語教育)	応用言語学、英語教育	Listening、グローバル、Academic Presentation
講師	溝淵 絵里	修士(学術)	体育学	体育、健康と福祉
講師	南出 大樹	修士(理学)	代数幾何	解析、線形代数、確率統計
助教	青木 悠史郎	博士(理学)	公理的集合論	基礎数学、線形代数、解析
助教	江藤 信暁	修士(哲学)	哲学	対話のための哲学・倫理入門、技術者のための哲学・倫理、哲学入門
助教	小橋 龍人	博士(人文学)	日本古代文学	国語総合、文章表現法、日本文化論
助教	高橋 幹弥	博士(理学)	ブラックホール天文学	物理、応用物理、地球・環境・省エネルギー
助教	中村 憲史	博士(理学)	偏微分方程式論	基礎数学、線形代数
助教	渡邊 美希	博士(文学)	中古文学	国語総合、文章表現法
教授※	小中澤 聖二	理学博士	解析学	解析、線形代数、確率統計

※嘱託

機械工学科

職位	氏名	学位/称号	専門分野	主な担当
教授	角田 陽	博士(工学)	精密・微細加工学	先端加工学特論、加工学、経営工学
教授	多羅尾 進	博士(工学)	ロボット工学	システム制御、ロボット・モビリティ工学、ロボティクス
教授	富沢 哲雄	博士(工学)	スマートシステム学	ロボット・モビリティ工学、設計製図、情報処理基礎、デザイン工学
准教授	小山 幸平	博士(工学)	熱流体工学	移動現象論、流体力学、機械工学基礎力学、伝熱工学
准教授	白土 清	博士(工学)	材料強度学	材料の力学特論、機械材料学
准教授	高田 宗一郎	博士(工学)	機械力学	機械力学特論、機械力学
准教授	堤 博貴	博士(工学)	精密工学	精密設計工学特論、CAD/CAM/CAE、機械工学基礎力学
講師	喜多 和	修士(知識科学)/ 技術士	知識科学	情報基礎、ものづくり基礎工学
助教	佐藤 魁星	博士(工学)	トライボロジー	機械設計、機械製図、機構学
教授※	齊藤 浩一	博士(学術)	生体工学	メカトロニクス、機械工学展望
准教授※	筒井 健太郎	博士(工学)	熱工学	熱工学特論、熱力学

※嘱託

電気工学科

職位	氏名	学位/称号	専門分野	主な担当
教授	綾野 秀樹	博士(工学)	電力変換工学	電気機器、電気回路、電気機器工学特論
教授	伊藤 浩	博士(工学)	半導体デバイス工学	電磁気学、半導体デバイス、電子デバイス特論
教授	玉田 耕治	博士(工学)	電気電子材料工学	電気回路、電磁気学、電子物性特論
教授	木村 知彦	博士(工学)	情報通信工学	電気電子計測、電子回路、制御工学特論
准教授	岩田 高明	博士(工学)	制御工学	電気回路、電気機器、電気電子計測
准教授	新國 広幸	博士(工学)	光エレクトロニクス	電子回路、応用数学、光エレクトロニクス
講師	武田 美咲	博士(工学)	生体運動制御	情報基礎、プログラミング言語、計算機システム
講師	根本 雄介	博士(工学)	プラズマ科学・電力工学	発電・電気エネルギー、プログラミング言語、電力エネルギー工学特論
助教	辰馬 未沙子	博士(理学)	計算科学	応用数学、電磁気学、デジタル回路
教授※	赤崎 達志	博士(工学)	物性工学	電気回路、電磁気学、基礎電気工学、技術者倫理

※嘱託

電子工学科

職位	氏名	学位/称号	専門分野	主な担当
教授	一戸 隆久	博士(工学)	固体電子工学	ものづくり基礎工学、電子物性特論、基礎電子工学
教授	姜 玄浩	博士(工学)	数理情報工学	プログラミング応用、知識情報工学、コンピュータビジョン
教授	津田 尚明	博士(工学)	ロボット工学	基礎制御工学、応用数学、電子回路II
教授	安田 利貴	博士(工学)	福祉工学	電磁気学、電気回路、生体医用工学概論
准教授	永井 翠	博士(工学)	生体医工学	電気電子計測、電気回路、電気電子工学実験
准教授	中村 一城	博士(工学)	無線通信工学、環境電磁工学	ワイヤレスシステム、電気関係法令、電気機器
准教授	新田 武父	博士(工学)	機能材料・デバイス	電子回路、電気回路、先端電子デバイス
准教授	水戸 慎一郎	博士(工学)	電子材料・電子デバイス	電気回路演習、電気数学、電子物性工学
講師	苅米 志帆乃	博士(情報学)	自然言語処理	デジタル回路、プログラミング言語、デジタル信号処理

情報工学科

職位	氏名	学位/称号	専門分野	主な担当
教授	北越 大輔	博士(工学)	機械学習	データマイニング、実践プログラミング
教授	小嶋 徹也	博士(工学)	情報ハイディング、情報通信	情報理論、情報数学
教授	鈴木 雅人	博士(情報科学)	パターン認識工学	画像認識工学、アルゴリズムとデータ構造
教授	松林 勝志	博士(工学)	制御工学	IoTシステム工学、ものづくり実践工学
教授	吉本 定伸	博士(工学)	適応信号処理	メディア信号処理、情報工学概論
准教授	山下 晃弘	博士(情報科学)	組み込みシステム開発	システムプログラミング、ものづくり実践工学
講師	西村 亮	修士(工学)	音声信号処理	プログラミング言語、電気・電子回路系実験実習
講師	松崎 頼人	博士(工学)	無線ネットワーク	情報処理特論、情報通信ネットワーク
助教	柴田 衛	修士(工学)	量子情報、情報セキュリティ	情報工学科実験実習、情報処理特論
教授※	杉野 隆三郎	博士(工学)	システム情報処理	情報数学I、統計リテラシー

※嘱託

物質工学科

職位	氏名	学位/称号	専門分野	主な担当
教授	伊藤 篤子	博士(理学)	細胞生物学	基礎生物、生物化学、ライフサイエンス・バイオテクノロジー
教授	庄司 良	博士(工学) / 技術士(環境・総監)	環境工学、生物工学	生物化学工学、環境工学特論、化学工学特論、機能性材料
教授	城石 英伸	博士(理学)	電気化学、分析化学	情報処理演習、工業化学、工業分析化学
教授	中川 修	博士(理学)	合成高分子化学	化学、高分子化学、物性化学
准教授	井手 智仁	博士(工学)	物理化学、錯体化学	化学、物理化学、物理化学特論、有機合成化学
准教授	伊藤 未希雄	博士(理学)	物理化学、表面化学	情報処理演習、物理化学、工業化学、機器分析
准教授	皆本 千尋	博士(学術)	高分子物理化学、分析化学	化学、生体材料工学
准教授	山本 祥正	博士(工学)	分析化学、有機材料工学	化学、工業化学、分析化学、機能性材料
講師	仙波 壽朗	博士(環境情報学)	ライフサイクルアセスメント、繊維工学	化学
助教	太田 直人	修士(工学)	化学工学、触媒工学	化学、情報基礎、化学工学
助教	吉田 麗娜	博士(工学)	電気化学、機能薄膜材料	無機化学、物理化学、無機化学特論
教授※	石井 宏幸	博士(工学)	化学工学	化学工学、工業化学、環境・エネルギー工学
教授※	町田 茂	工学博士	有機化学、合成化学	有機化学

※嘱託

社会実装教育研究センター

職位	氏名	学位/称号	専門分野	主な担当
教授※	松林 勝志	博士(工学)	制御工学	センター長
講師※	根本 雄介	博士(工学)	プラズマ科学、電力工学	副センター長
教授※	多羅尾 進	博士(工学)	ロボット工学	研究部門(ロボット分野)
教授※	富沢 哲雄	博士(工学)	スマートシステム学	研究部門(ロボット分野)
准教授※	高田 宗一郎	博士(工学)	機械力学	研究部門(AI分野)
助教※	吉田 麗娜	博士(工学)	無機化学、電気化学	研究部門(触媒分野)

※併任

教育課程表(令和8年度入学生向け)

一般科目(各学科共通)							
区分	授業科目	単位数	学年別配当				
			1年	2年	3年	4年	5年
人文系科目	Reading I	1	1				
	Reading II	1	1				
	Reading III	1	1				
	Reading IV	1	1				
	Reading V	1		1			
	Reading VI	1		1			
	Grammar & Writing I	1	1				
	Grammar & Writing II	1	1				
	Grammar & Writing III	1	1				
	Grammar & Writing IV	1	1				
	Grammar & Writing V	1	1				
	Listening	1	1				
	Oral communication I	1	1				
	Oral communication II	1	1				
	Science English I	1	1				
	Science English II	1	1				
	TOEIC English I	1				1	
	TOEIC English II	1				1	
	国語総合I	1	1				
	国語総合II	1	1				
	国語総合III	1	1				
	国語総合IV	1	1				
	国語総合V	1	1				
	文章表現法I	1	1				
	文章表現法II	2				2	
対話としての哲学・倫理入門	1	1					
現代社会論	1	1					
社会と文化からみる歴史I	1	1					
社会と文化からみる歴史II	1	1					
科学技術から見る歴史I	1		1				
科学技術から見る歴史II	1		1				
技術者のための哲学・倫理	2				2		
健康と福祉	1	1					
体育I	2	2					
体育II	2	2					
体育III	2	2					
体育IV	2	2					
芸術	1	1					
開設単位数小計	44	15	12	9	8	0	
自然系科目	基礎数学I	2	2				
	基礎数学II	2	2				
	基礎数学I演習	1	1				
	基礎数学II演習	1	1				
	線形代数I	1	1				
	線形代数II	1	1				
	線形代数III	1		1			
	線形代数IV	1		1			
	微分積分I	2	2				
	微分積分II	2	2				
	確率統計	1		1			
	解析I	2	2				
	解析II	1	1				
	微分方程式	2		2			
	応用数学	2		2			
	物理I	1	1				
	物理II	1	1				
	物理III	1	1				
	物理IV	1	1				
	物理V	1		1			
	物理VI	1		1			
	化学I	1	1				
	化学II	1	1				
	化学III	1	1				
	化学IV	1	1				
化学V	1		1				
化学VI	1		1				
地球・環境・省エネルギー	2				2		
ライフサイエンス・バイオテクノロジー	2				2		
開設単位数小計	38	10	10	10	6	2	
選択科目	教養選択I	2			2		
	教養選択II	2			2		
	Comprehensive English	2			2		
	数学総合演習	2			2		

機械工学科								
区分	授業科目	単位数	学年別配当					
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学	5	5					
	機械工学演習I	2	2					
	機械工学演習II	2	2					
	機械工学演習III	1		1				
	機械工学演習IV	1		1				
	機械工学演習V	1			1			
	機械工学演習VI	1			1			
	機械工学実験実習I	1	1					
	機械工学実験実習II	1	1					
	機械工学実験実習III	2	2					
	機械工学実験実習IV	2	2					
	機械工学実験実習V	2	2					
	機械工学実験実習VI	2	2					
	インターンシップ	3			3			
	社会実装プロジェクトI	1			1			
	社会実装プロジェクトII	2			2			
	社会実装プロジェクトIII	2			2			
	卒業研究	10					10	
	開設単位数小計	45	5	6	6	12	16	
	履修科目	情報基礎	1	1				
		応用物理	2			2		
		経営工学	2				2	
		電気・電子工学展望	1	1				
		電気回路I	2	2				
		電気回路II	2	2				
電気回路III		1		1				
プログラミング言語		1	1					
デジタル回路		1	1					
電磁気学I		2	2					
電磁気学II		2	2					
電気応用演習		1	1					
電子回路I		1	1					
電子回路II		2			2			
電気電子計測		2	2					
電気数学		2	2					
制御工学		2			2			
電気機器I		2			2			
電気機器II		2			2			
電力システム		2			2			
発電・電気エネルギー		2			2			
電子物性工学		2			2			
半導体デバイス		2			2			
光エレクトロニクス		2			2			
開設単位数小計		41	1	7	7	16	10	
コース選択科目	情報通信システムコース							
	通信伝送工学	2			2			
	情報通信ネットワーク	2			2			
	計算機システム	2			2			
	情報処理基礎	2			2			
	ライフサイエンスコース							
	環境・エネルギー工学	2			2			
	生体材料工学	2			2			
	知能化システムコース							
	デジタル信号処理	2			2			
	知識情報工学	2			2			
	ロボット・モビリティ工学	2			2			
	ロボットシステムコース							
	システムインテグレーション	2			2			
	ロボット・モビリティ工学	2			2			
	先端テクノロジー	2			2			
	統計リテラシー	2			2			
	ものづくり実践工学I	2		2				
	ものづくり実践工学II	2		2				
	選択科目	先端テクノロジー	2			2		
		統計リテラシー	2			2		
		ものづくり実践工学I	2		2			
		ものづくり実践工学II	2		2			

電気工学科								
区分	授業科目	単位数	学年別配当					
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学	5	5					
	電気電子工学実験I	2	2					
	電気電子工学実験II	2	2					
	電気電子工学実験III	2		2				
	電気電子工学実験IV	2		2				
	電気電子工学実験V	2			2			
	電気電子工学実験VI	2			2			
	インターンシップ	3			3			
	社会実装プロジェクトI	1			1			
	社会実装プロジェクトII	2			2			
	社会実装プロジェクトIII	2			2			
	卒業研究	10					10	
	開設単位数小計	39	5	4	4	10	16	
	履修科目	情報基礎	1	1				
		応用物理	2			2		
		経営工学	2				2	
		電気・電子工学展望	1	1				
		電気回路I	2	2				
		電気回路II	2	2				
		電気回路III	1		1			
		プログラミング言語	1	1				
		デジタル回路	1	1				
		電磁気学I	2	2				
		電磁気学II	2	2				
		電気応用演習	1	1				
電子回路I		1	1					
電子回路II		2			2			
電気電子計測		2	2					
電気数学		2	2					
制御工学		2			2			
電気機器I		2			2			
電気機器II		2			2			
電力システム		2			2			
発電・電気エネルギー		2			2			
電子物性工学		2			2			
半導体デバイス		2			2			
光エレクトロニクス		2			2			
開設単位数小計		41	1	7	7	16	10	
コース選択科目	情報通信システムコース							
	通信伝送工学	2			2			
	情報通信ネットワーク	2			2			
	計算機システム	2			2			
	情報処理基礎	2			2			
	ライフサイエンスコース							
	環境・エネルギー工学	2			2			
	生体材料工学	2			2			
	知能化システムコース							
	デジタル信号処理	2			2			
	知識情報工学	2			2			
	ロボット・モビリティ工学	2			2			
	ロボットシステムコース							
	システムインテグレーション	2			2			
	ロボット・モビリティ工学	2			2			
	先端テクノロジー	2			2			
	統計リテラシー	2			2			
	ものづくり実践工学I	2		2				
	ものづくり実践工学II	2		2				
	選択科目	先端テクノロジー	2			2		
		統計リテラシー	2			2		
		ものづくり実践工学I	2		2			
		ものづくり実践工学II	2		2			

電子工学科								
区分	授業科目	単位数	学年別配当					
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	ものづくり基礎工学	5	5					
	電気電子工学実験I	2	2					
	電気電子工学実験II	2	2					
	電気電子工学実験III	2		2				
	電気電子工学実験IV	2		2				
	電気電子工学実験V	2			2			
	電気電子工学実験VI	2			2			
	インターンシップ	3			3			
	社会実装プロジェクトI	1			1			
	社会実装プロジェクトII	2			2			
	社会実装プロジェクトIII	2			2			
	卒業研究	10					10	
	開設単位数小計	39	5	4	4	10	16	
	履修科目	情報基礎	1	1				
		応用物理	2			2		
		経営工学	2				2	
		電気・電子工学展望	1	1				
		電気回路I	1	1				
		電気回路II	1	1				
		電気回路演習I	1	1				
		電気回路演習II	1	1				
		プログラミング言語	1	1				
		デジタル回路	1	1				
		電磁気学I	1		1			
		電磁気学II	1		1			
電磁気学演習		1		1				
電気回路III		1		1				
電気電子計測		1		1				
電子回路I		1		1				
電子回路II		1		1				
電気数学I		2			2			
電気数学II		2			2			
電力システム		2			2			
プログラミング応用		2			2			
電子物性工学		2			2			
先端電子デバイス		2			2			
電気機器		2			2			
基礎制御工学		2			2			
発電・電気エネルギー	2			2				
開設単位数小計	37	1	7	7	14	8		
コース選択科目	情報通信システムコース							
	通信伝送工学	2			2			
	情報通信ネットワーク	2			2			
	計算機システム	2			2			
	情報処理基礎	2			2			
	ライフサイエンスコース							
	環境・エネルギー工学	2			2			
	生体材料工学	2			2			
	知能化システムコース							
	デジタル信号処理	2			2			
	知識情報工学	2			2			
	ロボット・モビリティ工学	2			2			
	ロボットシステムコース							
	システムインテグレーション	2			2			
	ロボット・モビリティ工学	2			2			
	先端テクノロジー	2			2			
	統計リテラシー	2			2			
	ワイヤレスシステム	2			2			
	電気関係法令	2			2			
	ものづくり実践工学I	2		2				
	ものづくり実践工学II	2		2				
	選択科目	先端テクノロジー	2			2		
		統計リテラシー	2			2		
		ワイヤレスシステム	2			2		
		電気関係法令	2			2		
	ものづくり実践工学I	2		2				
	ものづくり実践工学II	2		2				

情報工学科							
区分	授業科目	単位数	学年別配当				
			1年	2年	3年	4年	5年
必修科目	ものづくり基礎工学	5	5				
	情報工学科実験実習I	3					

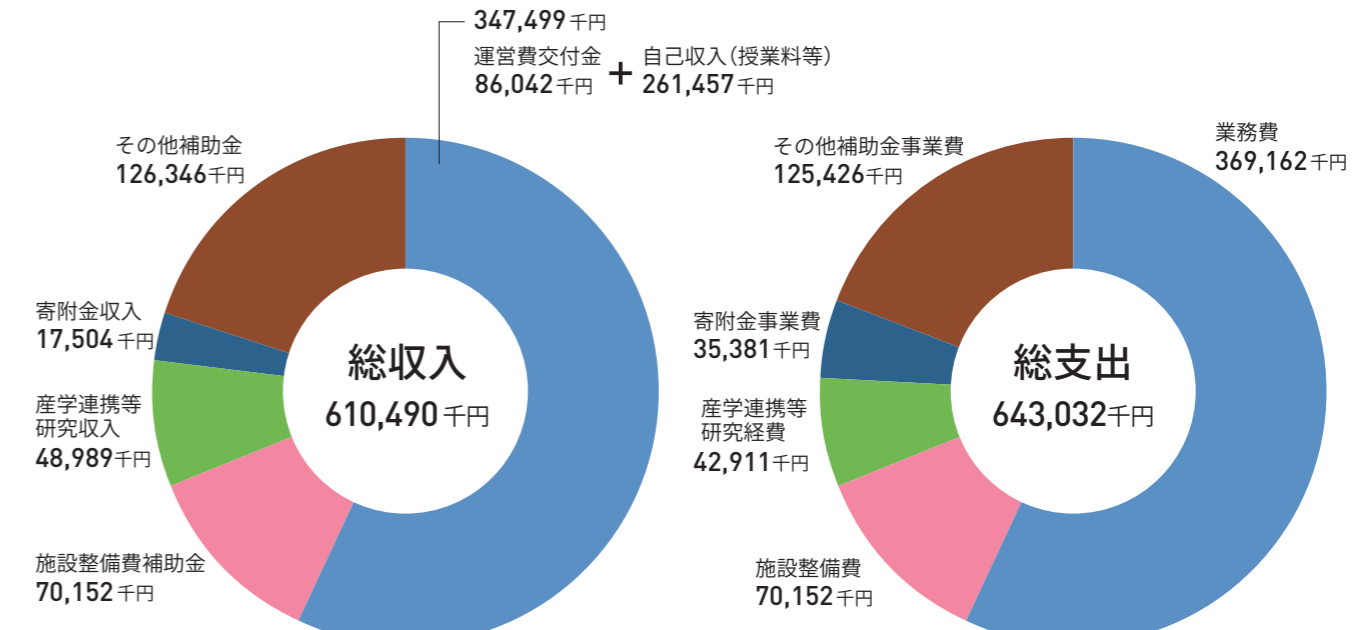
学生・教職員受賞一覧

※G:一般教育科、M:機械工学科、E:電気工学科、D:電子工学科、J:情報工学科、C:物質工学科、
AS:機械情報システム工学専攻、AE:電気電子工学専攻、AC:物質工学専攻 学年、職位は受賞年度のもので

年度	所属等*	氏名	主催機関	受賞内容
R05	5M 1AS	門田 有紀 羽鳥 倫太郎 松尾 大祐 フィルマン 榎林 紹 野島 輪太 榎木 貴人 宮原 琉	ロボット技術コンテスト 「Future Convenience Store Contest 2023(*1)」	ロボット技術コンテスト Future Convenience Store Contest 2023で「陳列・廃棄タスク」部門3位入賞
	5M	新奥 孝太	電気化学会	電気化学会秋季大会で、奨励賞を受賞
	4J	河野 大地	NEC	NEC Security Skills Challenge for Students 2023で高専部門2位(全体3位)入賞
	5M	中野 馬	日本ばね学会	2023年度 秋季ばね及び復元力応用講演会で、最優秀ポスター賞を受賞
	2C 3M	三浦 雅琳 長谷川 千晴	関東信越地区高専	第38回関東信越地区高等専門学校英語弁論大会で、 レネーション(暗唱)部門で第1位、スピーチ部門第2位を受賞
	5M	萬中 優悟	軽金属学会	第145回秋季大会で、優秀ポスター発表賞を受賞
	3M	長谷川 千晴	一般社団法人全国高等専門学校連合会	第17回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストで、シングル部門第2位を受賞
	5M	井上 頌久 遠藤 雄太郎 川熊 将陽 北原 史祥 北村 恭洸	脱炭素チャレンジカップ実行委員会	脱炭素チャレンジカップ2024で、炭素会計アドバイザー協会賞を受賞
	2J	岡本 琉聖 佐藤 樹 粕谷 駿太	インフラマネジメントテクノロジーコンテスト 実行委員会	第4回インフラマネジメントテクノロジーコンテスト2023で、 プラチナ賞(JR東日本「今後に期待で賞」、NEXCO東日本賞、熊谷組賞)を受賞
	5J	田井 葵	大学コンソーシアム八王子	第15回大学コンソーシアム八王子学生発表会で、準優秀賞を受賞
	3C 5C	五十嵐 雅 岡部 継 岡村 咲芭	化学工学会	第26回化学工学会学生発表会で、優秀賞を受賞
	5C	乙成 華菜	化学工学会	第26回化学工学会学生発表会で、優秀賞を受賞
	4C	秋山 禅 奥崎 翔 田代 悠人 米沢 輝	東京工業高等専門学校	第12回社会実装教育フォーラムで、最優秀社会実装賞を受賞
	5J	川田 るん	電子情報通信学会EMM研究会	2024年EMM研究会優秀研究賞を受賞
	R06	5C	西原 凜奈	日本環境化学会、日本環境毒性学会
5D 5D 2AE		河内 悠真 新田 康輔 荒井 俊亮	IEEE (電気・電子技術者学会)	国際会議「GCCE2024(IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics)」にて発表した 研究論文が、Excellent Poster Award (Gold Prize)を受賞
3J		神前 泰希	SMBC日興証券	アイデアソン高専インカレチャレンジで、他高専の学生との合同チームにて最優秀賞を受賞
3D 2J 3J 5J		金 志軒 吉田 宗司 島崎 太雅 河野 大地	木更津工業高等専門学校	KOSENセキュリティコンテスト2024で、第2位を受賞
5J		永谷 凜太郎	情報処理学会コンシューマデバイス&システム(CDS)研究会	第42回CDS研究会学生奨励賞を受賞
5J		河野 大地	情報処理学会	第87回全国大会 学生奨励賞 受賞
5M		伊藤 舞	日本機械学会関東支部	第64回学生員卒業研究発表講演会にて Best Presentation Award (学生優秀発表賞)を受賞
1AE		平松 透和	映像情報メディア学会放送技術研究会	学生および若手発表において優秀賞を受賞
3J		前沢 完青	情報オリンピック日本委員会	第24回日本情報オリンピック(JOI 2024/2025)にて優秀賞を受賞
1-3 1-4 2J 2C 3J		加賀山 晴生 梶原 幸希 シーサー 蒼真 角田 大地 松尾 幸汰 伊原 多助 前田 東吾 松本 創紀 山村 創 前田 一步	宮下 陸 朝羽 春介 吉田 宗司 西 優翔 豆田 匠音 田中 瑞久 田中 紗寧 木下 一真 島崎 太雅	AtCoder 中高生対象学校対抗競技プログラミング 「AtCoder Junior League 2024 Summer」にて学校部門のヒューリスティック部門で第1位、 アルゴリズム部門で第9位を受賞
2AS		山野 征晴	日本生体医工学会	第64回日本生体医工学会大会で「コニカミノルタ科学技術振興財団・日本生体医工学会大会奨励賞」を受賞
2AS		西本 葵(令和6年3月修了)	ライフサポート学会	ライフサポート学会誌第36巻3号に掲載された論文が2024年度ライフサポート学会論文賞を受賞 (授賞は令和7年8月)
2AE		加藤 悠太		ライフサポート学会第35回フロンティア講演会にて奨励賞を受賞
2AE		宝田 悠作	電気学会	電気学会東京支部カンファレンスにおいて行った発表で電気学会東京支部電気学術奨励賞を受賞
4D 4J 4J 4J		金 志軒 粕谷 駿太 島崎 太雅 田中 紗寧	木更津工業高等専門学校	KOSENセキュリティコンテスト2025で、第3位を受賞
5C	岡部 継 五十嵐 雅 岡村 咲芭	廃棄物資源循環学会	第36回廃棄物資源循環学会研究発表会にて優秀ポスター賞を受賞	
5M	星野 結生		八王子学生発表会において最優秀賞を受賞	
5C	加藤 立菰		八王子学生発表会において優秀賞を受賞	
3C	末松 拓実 鈴木 湊 仲林 ゆりか	大学コンソーシアム八王子	八王子学生発表会において最優秀賞を受賞	
5J	川出 泰三	情報処理学会	第45回CDS研究発表会において優秀発表賞を受賞	

年度	所属等*	氏名	主催機関	受賞内容
R05	M教授	角田 陽	精密工学会	バストオーガナイザー賞を受賞
	D教授 M教授 D准教授	大塚 友彦(現・岐阜高専 校長) 多羅尾 進 永井 翠	関東工学教育協会	「第17回関東工学教育協会賞 論文・論説部門賞」及び「第17回関東工学教育協会賞 協会貢献賞」を受賞
	J教授	小嶋 徹也	電子情報通信学会	電子情報通信学会基礎・境界サイエティ貢献賞を受賞
	E教授	綾野 秀樹	日経エレクトロニクス・日経クロステック	パワー・エレクトロニクス・アワード 2024 審査員特別賞を受賞
	R06	D教授 D准教授	姜 玄浩 水戸 慎一郎	IEEE (電気・電子技術者学会)
J教授 G准教授		小嶋 徹也 鈴木 慎也	電子情報通信学会EMM研究会	2024年EMM研究会優秀研究賞を受賞
E教授		綾野 秀樹	電気学会	電気学会調査専門委員会「電力変換装置における実用的なEMC対策技術調査専門委員会」にて 執筆・発行した電気学会技術報告が電気学会優秀技術活動賞技術報告賞を受賞
R07	G助教	青木 悠史朗	日本数学会	「Martinの公理の部分公理群と梯子系の色付けの一般化の関係」の研究について、 2025年度日本数学会賞建部賢弘奨励賞を受賞

財政 (令和6年度)



土地

名称	面積(m ²)
校舎等	42,584
グラウンド等	26,024
寄宿舍	10,774
その他	18,283
合計	97,665
職員宿舎	4,185
総面積	101,850

施設の概要

名称	構造	面積(m ²)
第1棟(管理棟)	RC3	1,654
第2棟(物質工学科・一般講義棟)	RC4	4,182
第2棟(物質工学科棟)	RC4	508
第3棟(機械・電気・電子工学科棟)	RC4	5,456
第4棟(図書館棟)	RC2-1	2,097
第5棟(講義棟)	RC2	660
第6棟(社会実装教育研究センター・産業技術センター)	RC2	461
第7棟(情報工学科棟)	RC5	2,224
第8棟(専攻科・総合教育棟)	RC4	1,168
第8棟(コラボレーション・commons)	RC3	897
ものづくり教育センター	S1	944
第1体育館	S+RC	1,123
第2体育館	S+RC	880
武道場	S1	311
合宿研修所	S1	196
くぬぎだ会館	RC2-1	663
学生食堂	S1	216
国際寮	RC3	1,502
第1寄宿舍	RC2	1,022
第2寄宿舍	RC4	1,298
第3寄宿舍	RC4	1,362
その他		1,017
職員宿舎		3,920
合計		33,761

CAMPUS MAP キャンパスマップ

- ① 第1棟 [管理棟(一般教育科)]
- ② 第2棟 [物質工学科・一般講義棟]
- ③ 第3棟 [機械・電気・電子工学科棟]
- ④ 第4棟 [図書館棟(学生課)]
- ⑤ 第5棟 [講義棟]
- ⑥ 第6棟 [社会実装教育研究センター・産業技術センター]
- ⑦ 第7棟 [情報工学科棟]
- ⑧ 第8棟 [専攻科・総合教育棟]
- ⑨ 第8棟 [コラボレーション・commons]
- ⑩ ものづくり教育センター



15 くぬぎだ会館



4 第4棟

図書館 閲覧室



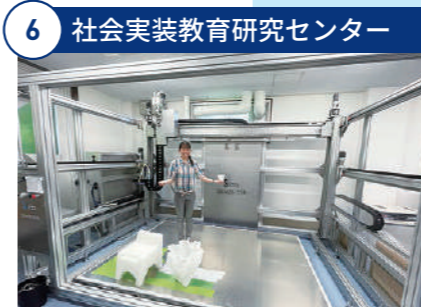
4 第4棟

自学自習室



5 第5棟

第1演習室



6 社会実装教育研究センター

造形室(大型3Dプリンタ)



7 第7棟

情報工学科電算室



10 ものづくり教育センター

実習工場



17 ~ 20 くぬぎだ寮

国際寮



国際寮ラーニングスペース



21 グラウンド

野球場・球技場



11 12 体育館

第1体育館



3 第3棟

応用物理実験室



8 9 第8棟

コラボレーション・commons



2 第2棟

教室



◆外部評価

本校では次の外部評価を受審しています。

1)機関別認証評価

高等教育機関は、学校教育法において、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し、文部科学大臣が認証する評価機関の実施する評価を受けることが義務づけられています。大学改革支援・学位授与機構が実施する、教育研究水準の向上に資することを目的とした高等専門学校機関別認証評価を受審しています。

2)専攻科における教育の実施状況等(レビュー)審査・特例適用認定審査

大学改革支援・学位授与機構が実施する、認定を受けた専攻科における教育の実施状況等についての審査を受審しています。

また、特例適用認定審査は、大学改革支援・学位授与機構が実施する専攻科生の学位取得に関わる学士課程の質保証審査です。本校専攻科は、特例適用の認定を受けており、修了見込み者が行う学士の学位授与申請については学修成果に関する試験が免除されます。

◆一般社団法人東京高専技術懇談会

一般社団法人東京高専技術懇談会は、本校と連携して自社製品の開発や技術の向上を目指す、主に八王子市周辺企業との産学連携組織です。平成5年に設立、平成21年に法人化し、会員数は97社(令和6年1月現在)です。技術に関する情報交換とお互に、地域活性化に寄与することを目的として、講演会・講習会・見学会・異業種交流会等を実施しています。

技術懇談会ホームページ(<http://www.gizyutsucon.com/>)

◆同窓会

本校同窓会は、会員相互の親睦を図り、併せて母校の発展に寄与することを目的として活動しています。毎年文化祭期間に総会を開催し、活動計画や母校との連携について話し合い、外部からの様々な協力・支援を行っています。

同窓会ホームページ(<https://dosokai.ne.jp/tnc/>)

◆後援会

本校全学生の保護者を会員とする後援会の活動のひとつが、学校主催行事への支援で、工場見学・研修旅行・インターンシップなどの教育活動の他に、クラブ活動・体育祭・文化祭への助成も行っています。また近年では、各学科への機材の寄附等、学校環境の整備にも取り組んでいます。

後援会ホームページ(<https://nittcs.org/>)

ボクを知らない人「はじめまして」。
知ってる人「こんにちは」

ボクの名前は【はざまる】といいます。
ボクは霊峰高尾山に住んでる天狗様をモチーフに、
東京高専の英知を結集して作られた
テング型ロボットなのです。

- メカニズムは【機械工学科】
- エネルギー電池は【電気工学科】
- 制御回路は【電子工学科】
- 人工知能は【情報工学科】
- 特殊ボディは【物質工学科】
- 基礎教養は【一般教育科】

得意なことは空を飛ぶこと。バイクの分解組立はお手のものさ。
東京高専生にまじっているいろいろな技術を学ぶために、
修行に明け暮れる充実した日々を過ごしてるんだ。
以上、簡単な自己紹介でした。よろしくね!



東京工業高等専門学校
広報イメージキャラクター
“はざまる”